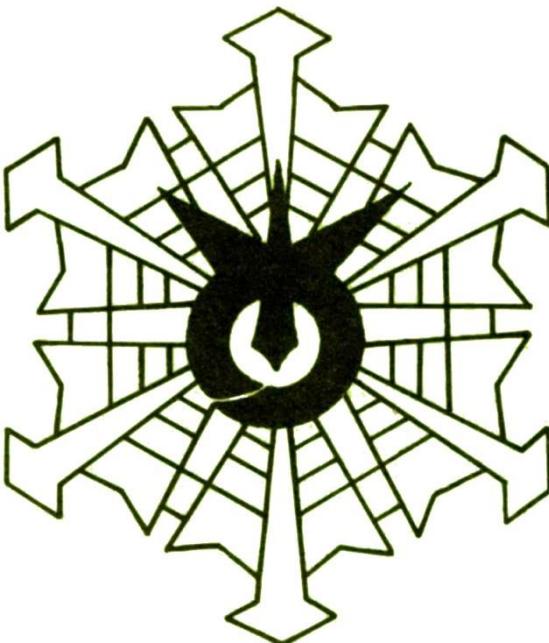


# 消防年報

令和 6 年版



(令和 7 年刊行)

安芸市消防本部

## は　し　が　き

- (1) この年報は、安芸市消防行政をひろく一般に紹介するとともに、将来の参考に資するため、令和6年中の本市消防の現勢及び業務の内容、火災状況等を集録編さんいたしました。
- (2) この統計中、火災統計、救急統計、警防活動状況は暦年（1月～12月）とし、その他の事項については、令和7年4月1日現在をもって集録しましたが、これによらないものについては、必要に応じ表右上に調査年月日を示しました。
- (3) この年報の世帯数人口等は安芸市市民保険課の統計資料によるものであります。

## 目次

安芸市消防の沿革 .....	1
【総務編】.....	9
庶務	
1. 安芸市の位置 .....	10
2. 安芸市の市勢 .....	10
3. 消防職団員消防車に対する比較 .....	10
4. 現有消防力に対する基準数(消防署) .....	10
5. 安芸市消防の組織 .....	11
6. 事務分掌 .....	12
7. 消防庁舎等の現況 .....	13
財政	
1. 財政状況(平成 13 年度～令和 5 年度).....	14
2. 令和 4 年度・令和 5 年度決算額 .....	15
人事教養	
1. 職員定数及び配置状況 .....	16
2. 職員勤続年数状況 .....	16
3. 職員年齢別状況 .....	17
4. 職員研修修了状況 .....	17
5. 職員特殊技能資格取得状況 .....	18
6. 歴代消防長・署長	
(ア)歴代消防長 .....	19
(イ)歴代消防署長 .....	20

【警防編】	21
機材・水利	
1. 消防機械配置図	22
2. 消防水利状況(防火水槽)	23
3. 消防団現有配備・消防水利充足状況	25
4. 消防署現有配備・消防通信設備状況	25
5. 消防資器材	26
通信	
1. 警防	
(通信 デジタル波)	27
(固定局 安芸市防災行政無線)	28
2. 通信連絡系統表	30
3. サイレン遠隔制御装置	
(安芸市防災行政無線・デジタル波)	31
【救急統計編】	32
1. 月別出場状況表	33
2. 時間別出場状況表	33
3. 曜日別出場状況表	34
4. 事故種別出場状況表	35
5. 搬送人員	36
6. 年齢別・傷害程度別搬送人員	37
7. 事故種別理由別不搬送件数	37
8. 救急隊員の行った応急処置件数	37
9. 覚知別・傷害別件数	38

10. 事故種別年齢区分別搬送人員	38
11. 事故種別傷害程度別搬送人員	38
12. 現場到着所要時間別出場件数	39
13. 収容所要時間別搬送人員	39
14. 事故種別医療機関別搬送人員	40
15. 救急法指導実施状況	41
 【予防編】	42
1. 防火対象物数	43
2. 建築同意事務処理状況	44
3. 数量別危険物製造所等の数	45
4. 危険物関係事務処理状況	46
5. 火災予防条例に基づく各種届出状況	46
6. 消防法第9条の3に基づく届出状況	46
7. 消防手数料徴収状況(危険物)(煙火消費)	47
8. 3年間の火災統計	48
9. 3年間の地区別火災統計	48
10. 3年間(令和3年・4年・5年)の月別火災件数及び 原因別火災件数調べ	49
11. 原因別(内訳)火災状況	50
12. 時刻別火災状況	51
13. 曜日別火災状況	52
14. 覚知火災状況	52
15. 月別火災状況	53
16. 月別火災出動状況	53
17. 業務別火災発生状況	54

【消防団編】	55
1. 安芸市消防団機構	56
2. 消防団定員及び実員数	56
3. 消防団在職年数	56
4. 年齢別調べ	56
5. 消防団編成表	57
6. 消防機械車齢別一覧表	57
7. 機械器具配置状況	58
8. ポンプ車配置状況	58
9. 指揮者、運搬車、防災活動車、小型ポンプ 積載車配置状況	58
10. 小型ポンプ配置状況	58
11. 消防団幹部名簿	59
12. 歴代団長	59
13. 団員報酬調べ、年報酬(1人当)	60
14. 出動報酬	60
15. 手当関係	60
16. 安芸市消防団員表彰条例	61

## 安芸市消防の沿革

本市は昭和29年8月1日市町村合併促進法に基づき1町7村（安芸町・伊尾木村・川北村・土居村・井ノ口村・畠山村・東川村・赤野村）が合併した高知市以東に於ける市街地を形成する人口3万余名の田園都市として発足。

本市は昭和29年8月1日消防団結成と共に初代団長に野町紀穂之助氏が就任。分団数10ヶ分団（伊尾木分団・川北分団・東川分団・安芸分団・中央分団・土居分団・井ノ口分団・畠山分団・穴内分団・赤野分団）団員総数314名、消防ポンプ自動車5台、手引動力ポンプ4台、小型動力ポンプ1台、合計口数15口の消防力で発足した。

昭和30年 3月 7日	国家消防本部長より表彰竿頭綬を授与。
昭和31年 4月 7日	消防ポンプ自動車A 2級購入、穴内分団へ配置。
昭和31年 4月 7日	消防ポンプ自動車A 2級購入、井ノ口分団へ配置。
昭和31年 6月 5日	小型動力ポンプB 2級購入、赤野分団へ配置。
昭和33年 8月 1日	消防団員定数条例改正（定員314名を282名）。
昭和34年 4月 7日	高知県知事より旗旌を授与。
昭和36年 2月 26日	消防ポンプ自動車A 2級購入、中央分団へ配置。
昭和36年 7月 10日	小型動力ポンプB 2級購入、伊尾木分団下山班へ配置。
昭和36年 7月 11日	小型動力ポンプB 2級購入、畠山分団へ配置。
昭和36年 12月 13日	消防ポンプ自動車購入、赤野分団へ配置。
昭和38年 3月 27日	搬送車購入、畠山分団へ配置。
昭和38年 8月 15日	消防指令車購入、消防本部へ配置。
昭和38年 12月 5日	消防用超短波無線機基地局及び車載用移動局1基購入。
昭和39年 8月 5日	小型動力ポンプB 2級購入、東川分団大井地区へ配置。
昭和39年 8月 5日	小型動力ポンプB 2級購入、畠山分団上尾川地区へ配置。
昭和39年 8月 18日	小型動力ポンプB 2級購入、畠山分団和田地区へ配置。
昭和40年 2月 2日	小型動力ポンプB 2級購入、穴内分団へ配置。
昭和40年 4月 1日	政令107号により消防本部・消防署の設置の義務付け。
昭和40年 4月 26日	小型動力ポンプB 2級購入、川北分団江川班へ配置。
昭和40年 9月 29日	消防ポンプ自動車購入、消防本部・消防署発足時に配置。
昭和41年 3月 1日	搬送車購入、伊尾木分団下山班へ配置。
昭和41年 11月 4日	消防用超短波無線機移動用5W購入、消防署、消防ポンプ自動車に積載。
昭和42年 4月 1日	消防本部・消防署、職員17名で発足。
	初代消防長に山崎初男氏（市長）就任。
	本部次長兼署長に小松亦吾郎氏就任。
昭和42年 10月 15日	県知事より、表彰竿頭綬を授与。
昭和42年 10月 18日	小型動力ポンプB 2級購入、井ノ口分団内原野地区へ配置。
昭和42年 12月 5日	消防庁舎新築工事着工。
昭和43年 3月 7日	消防庁長官より表彰旗授与。
昭和43年 6月 10日	消防庁舎新築工事完成。
昭和43年 7月 31日	初代消防団長野町紀穂之助氏退任。
昭和43年 8月 1日	2代目消防団長に畠山丈藏氏就任。

昭和43年 9月30日	小型動力ポンプB 2級購入、赤野分団へ配置。
昭和44年11月14日	消防ポンプ自動車A 2級購入、消防本部へ配置。
昭和45年 9月 1日	小型動力ポンプB 2級購入、東川分団へ配置。
昭和45年12月20日	消防ポンプ自動車A 2級購入、川北分団へ配置。
昭和46年 1月 8日	救急車B級日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和46年 4月 1日	救急業務開始。
昭和46年 4月 1日	救急業務開始にともない、職員7名増員、定員24名。
昭和46年11月 8日	消防ポンプ自動車A 1級、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和47年 3月10日	消防ポンプ自動車A 2級購入、伊尾木分団へ配置。
昭和47年 7月 7日	運搬車日産C240型式購入、消防本部へ配置。
昭和47年 9月12日	消防ポンプ自動車A 2級購入、土居分団へ配置。
昭和47年10月	職員1名退職。実員23名。
昭和47年12月 1日	職員1名採用。実員24名。
昭和48年 4月 1日	小型動力ポンプB 2級購入、東川分団古井地区へ配置。
昭和48年12月10日	消防ポンプ自動車A 2級購入、穴内分団へ配置。
昭和49年 7月26日	小型動力ポンプB 2級購入、伊尾木分団下山班へ配置。
昭和49年 9月 4日	初代消防長山崎初男氏（市長）退任。
昭和49年 9月 5日	2代目消防長に岡村喜郎氏（市長）就任。
昭和49年 9月25日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、井ノ口分団へ配置。
昭和50年 3月31日	本部次長兼消防署長小松亦吾郎氏退任。実員23名。
昭和50年 4月 1日	本部次長兼消防署長に伊藤嘉幸氏就任。
昭和50年12月24日	職員1名採用。実員24名。
昭和51年 3月31日	中央分団屯所完成。
昭和51年 4月 1日	2代目消防長岡村喜郎氏（市長）退任。
昭和51年 7月24日	3代目消防長に伊藤嘉幸氏就任（本部次長・消防署長兼務）。
昭和51年 7月31日	小型動力ポンプB 2級購入、丸石地区へ配置。
昭和51年 8月 1日	2代目消防団長畠山丈藏氏退任。
昭和51年12月 3日	3代目消防団長に岡村幸一氏就任。
昭和52年 1月10日	水槽付消防ポンプ自動車1-A型購入、消防本部へ配置。
昭和53年 1月31日	サイレン遠隔制御装置設置（子局11ヶ所）。
昭和53年 3月11日	井ノ口分団屯所完成。
昭和53年 4月 1日	職員3名採用、市役所へ1名出向。実員26名。
昭和53年 4月15日	川北分団車庫完成（川北公民館と併用）。
昭和53年 5月13日	消防指令車購入、消防本部へ配置。
昭和53年11月26日	穴内分団屯所完成。
昭和54年 3月31日	専任消防長に伊藤嘉幸氏就任。
昭和54年 4月 1日	本部次長兼消防署長に森澤民平氏就任。
昭和54年 4月 1日	芸西村消防業務一部受託（予防・救急）にともない職員11名採用、市役所へ2名出向。実員35名。
昭和54年 7月 7日	小型動力ポンプB 2級購入、川北分団江川班へ配置。

昭和54年12月 1日	救急自動車2B型、日本自動車工業会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和54年12月12日	畠山分団屯所落成。
昭和54年12月27日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、赤野分団へ配置。
昭和55年 2月15日	救急指令装置を設置。
昭和55年 7月31日	3代目消防団長岡村幸一氏退任。
昭和55年 8月 1日	4代目消防団長に岡林重夫氏就任。
昭和55年 8月19日	小型動力ポンプB2級購入、東川分団奈比賀地区へ配置。
昭和56年 2月10日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、中央分団へ配置。
昭和56年 7月27日	小型動力ポンプB2級購入、畠山分団和田地区へ配置。
昭和56年 9月30日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、畠山分団へ配置。
昭和56年11月 7日	畠山分団車庫増設。
昭和57年 1月29日	中央分団車庫増設。
昭和57年 3月25日	搬送車2台購入、中央分団・井ノ口分団へ配置。
昭和57年 4月 1日	職員1名採用、市役所へ1名出向。実員35名。
昭和57年 4月28日	高知県知事より表彰旗授与。
昭和57年 7月 6日	小型動力ポンプB3級購入、東川分団大井地区へ配置。
昭和57年10月10日	東川分団車庫完成。
昭和57年10月28日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、東川分団へ配置。
昭和58年 2月24日	赤野分団車庫増設。
昭和58年 2月28日	搬送車2台購入、赤野分団・土居分団へ配置。
昭和58年 4月 1日	職員1名採用、市役所へ1名出向。実員35名。
昭和58年 6月	職員1名退職。実員34名。
昭和58年 7月29日	小型動力ポンプB3級購入、畠山分団上尾川地区へ配置。
昭和58年 8月 8日	軽可搬消防ポンプ消防本部へ配置。
昭和59年 2月10日	穴内分団車庫増設。
昭和59年 2月20日	搬送車2台購入、穴内分団・川北分団へ配置。
昭和59年 2月22日	東川分団奈比賀地区格納庫完成。
昭和59年 3月31日	本部次長兼消防署長森澤民平氏退任。実員33名。
昭和59年 4月 1日	本部次長兼消防署長に島崎賀行氏就任(市役所より出向)。実員34名。
昭和59年 6月17日	小型動力ポンプB3級購入、井ノ口分団内原野地区へ配置。
昭和59年 9月28日	消防ポンプ自動車BD-1型、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和59年11月29日	救急自動車2B型、日本自動車工業会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和60年 2月28日	搬送車購入、安芸分団へ配置。
昭和60年 3月22日	安芸分団屯所完成。
昭和60年 3月31日	3代目消防長伊藤嘉幸氏退任。実員33名。
昭和60年 4月 1日	4代目消防長に山崎勲氏就任(市役所より出向)。実員34名。
昭和60年 6月	職員1名退職。実員33名。
昭和60年 8月27日	広報車、日本消防協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和61年 2月18日	伊尾木分団屯所完成。
昭和61年 3月 6日	搬送車購入、伊尾木分団へ配置。
昭和61年 4月 1日	職員2名採用。実員35名。

昭和61年10月 9日	搬送車購入、畠山分団へ配置。
昭和62年 3月26日	川北分団江川班屯所完成。
昭和62年 3月31日	本部次長兼消防署長島崎賀行氏市役所へ。
昭和62年 4月 1日	仙頭齊氏本部次長に就任。 楠瀬要一氏消防署長に就任。
昭和62年11月11日	市役所より元消防職員1名補充。実員35名。
昭和62年11月11日	東川分団奈比賀地区消防車庫完成。
昭和63年 3月 5日	東川分団奈比賀地区に運搬車配置。
昭和63年 3月25日	救急車2B型、日本損害保険協会より寄贈。
昭和63年 7月31日	伊尾木分団下山班屯所完成。
昭和63年 8月 1日	4代目消防団長岡林重夫氏退任。
昭和63年12月14日	5代目消防団長に吉永秀昭氏就任。
平成 元年 3月31日	搬送車2台購入、川北分団江川班・伊尾木分団下山班へ配置。
平成 元年 3月31日	土居分団屯所完成。
平成 元年 9月	サイレン遠隔制御装置子局下尾川へ設置。
平成 2年 3月31日	職員1名退職。実員34名。
平成 2年 4月 1日	川北分団屯所完成。
平成 2年 4月 1日	職員2名採用。市役所へ1名出向。実員35名。
平成 2年11月20日	消防ポンプ自動車BD—I型購入、安芸分団へ配置。
平成 3年 3月29日	水槽付消防ポンプ自動車購入、消防本部へ配置。
平成 3年 4月 1日	職員1名採用、実員36名。
平成 3年11月13日	消防ポンプ自動車BD—I型購入、川北分団へ配置。
平成 4年 3月31日	4代目消防長山崎勲氏退任。実員35名。
平成 4年 4月 1日	5代目消防長に仙頭齊氏就任。
平成 4年10月27日	本部次長兼消防署長に楠瀬要一氏就任。
平成 4年11月25日	消防職員2名採用、市役所へ1名出向。実員36名。
平成 5年 4月 1日	消防ポンプ自動車BD—I型購入、伊尾木分団へ配置。
平成 6年 1月17日	小型動力ポンプB3級購入消防本部へ配置。
平成 6年 3月 7日	職員2名採用、実員38名。
平成 6年 3月28日	消防ポンプ自動車BD—I型2台購入、土居分団・穴内分団へ配置。
平成 6年 3月31日	消防団緊急伝達システム装置（基地局1・子局17）設置。
平成 6年 3月31日	高規格救急車パラメディック及び資機材、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
平成 6年 4月 1日	5代目消防長仙頭齊氏退任。
平成 6年 4月 1日	本部次長兼消防署長楠瀬要一氏退任。
平成 6年 4月 1日	職員1名退職。実員35名。
平成 6年 8月 9日	6代目消防長に森田修一氏就任。（市役所より出向）
平成 7年 3月 8日	本部次長兼消防署長に横山壽美男氏就任。
平成 7年 3月 8日	消防職員2名増員、定員38名。
平成 7年 3月 8日	畠山分団上尾川地区格納庫完成。
平成 7年 3月 8日	消防団緊急伝達システム装置子局穴内へ設置。

平成 7年 4月 1日	職員 2名採用、市役所へ 1名出向、実員 39名。
平成 7年 5月 30日	予防広報車購入、消防本部へ配置。
平成 7年 7月 21日	搬送車、石建守氏より寄贈、消防本部へ配置。
平成 7年 7月 21日	救急車 2B型、高知県共済農業協同組合連合会より寄贈、消防本部へ配置。
平成 7年 8月 1日	消防ポンプ自動車 CD—I型、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
平成 7年 11月 1日	消防ポンプ自動車 CD—I型 2台購入、井ノ口分団・赤野分団へ配置。
平成 8年 2月 1日	高知県消防防災航空隊へ消防職員 1名派遣。実員 38名。
平成 8年 7月 31日	5代目消防団長吉永秀昭氏退任。
平成 8年 8月 1日	6代目消防団長に五百藏溜氏就任。
平成 9年 2月 7日	中央分団屯所完成。
平成 9年 3月 6日	消防団緊急伝達システム装置（子局）大山岬へ設置。
平成 9年 12月 24日	消防ポンプ自動車 CD—I型 2台購入、畠山分団・中央分団へ配置。
平成 10年 1月 7日	消防団緊急伝達システム装置（子局）津久茂町へ設置。
平成 10年 3月 8日	東川分団屯所完成。
平成 10年 6月 24日	消防指揮車 JA 安芸市より寄贈、消防本部へ配置。
平成 10年 11月 15日	消防ポンプ自動車 CD—I型 購入、東川分団へ配置。
平成 10年 12月 8日	穴内分団屯所完成。
平成 11年 3月 26日	消防団緊急伝達システム装置（子局）穴内南へ設置。
平成 11年 4月 1日	高知県消防防災航空隊より消防職員 1名戻り。実員 39名。
平成 11年 12月 24日	畠山分団屯所完成。
平成 12年 3月 7日	消防団緊急伝達システム装置（子局）川北南へ設置。
平成 12年 3月 29日	小型ポンプ付積載車購入、伊尾木分団下山班へ配置。
平成 12年 3月 31日	6代目消防長森田修一氏市役所へ。実員 38名。
平成 12年 4月 1日	7代目消防長に横山壽美男氏就任。
	本部次長兼消防署長に小松精一氏就任。
平成 12年 11月 28日	職員 2名採用、事務職員市役所より 1名出向。実員 41名。
平成 13年 3月 29日	井ノ口分団屯所完成。
平成 13年 3月 31日	消防団緊急伝達システム装置（子局）僧津へ設置。
平成 13年 4月 1日	小型ポンプ付積載車、穴内分団へ配置。
平成 14年 2月 25日	本部次長兼消防署長小松精一氏退任。実員 40名。
平成 14年 3月 31日	本部次長兼消防署長に大野雄康氏就任。
平成 14年 4月 1日	小型ポンプ付積載車、川北分団江川班へ配置。
	江川班の運搬車を川北分団に配置。
平成 14年 3月 31日	事務職員 1名市役所へ戻る。実員 39名。
平成 14年 4月 1日	職員 2名採用、実員 41名。
平成 14年 10月 24日	小型ポンプ付積載車、赤野分団へ配置。
平成 15年 3月 31日	職員 1名退職。実員 39名。
平成 15年 4月 1日	職員 1名採用、実員 40名。
平成 15年 7月 30日	井ノ口分団内原野地区格納庫完成。（建替）
平成 16年 3月 31日	職員 1名退職。実員 39名。
平成 16年 6月 25日	室戸市消防本部より救急自動車 2B型寄贈、（予備車）消防本部へ配置。

平成 16 年	7月 31 日	6代目消防団長五百藏溜氏退任。
平成 16 年	8月 1 日	7代目消防団長に野町久壽昭氏就任。
平成 17 年	2月 1 日	高規格救急車ハイメディック、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
平成 17 年	3月 31 日	職員 1名退職。実員 38名。
平成 17 年	4月 1 日	高知県消防防災航空隊へ消防職員 1名派遣。実員 37名。
平成 18 年	3月 27 日	赤野分団屯所完成。
平成 18 年	3月 31 日	本部次長兼消防署長大野雄康氏退任。
平成 18 年	4月 1 日	職員 3名退職。実員 34名。
平成 18 年	4月 1 日	本部次長兼消防署長に有澤誠郎氏就任。
		事務職員市役所より 1名出向。定員 38名、実員 35名。
平成 19 年	2月 9 日	日本消防協会より表彰旗授与。
平成 19 年	2月 21 日	消防団緊急伝達システム装置（子局）井ノ口北へ設置。
平成 19 年	3月 31 日	職員 1名退職。事務職員 1名市役所へ戻る。実員 33名。
平成 19 年	4月 1 日	事務職員市役所より 1名出向。職員 2名採用、実員 36名。
平成 19 年	10月 22 日	トヨタ救急車。全国共済農業協同組合連合会より寄贈。
平成 20 年	3月 31 日	7代目消防長横山壽美男氏退任。職員 1名退職。実員 34名。
平成 20 年	4月 1 日	8代目消防長に有澤誠郎氏就任。
		本部次長兼消防署長に小松昌一氏就任。
		職員 2名採用、実員 36名。
平成 21 年	2月 27 日	消防団指揮車。日本消防協会より寄贈、団本部へ配置。
平成 21 年	3月 31 日	8代目消防長有澤誠郎氏退任。実員 35名。
平成 21 年	4月 1 日	9代目消防長に小松敏伸氏就任。
		職員 1名採用（市役所より出向）、高知県消防防災航空隊へ派遣していた消防職員 1名戻る。実員 38名。
平成 21 年	12月 15 日	水槽付消防ポンプ自動車・水 1－A 購入、消防本部へ配置。
平成 22 年	12月 10 日	消防団小型動力ポンプ付軽消防自動車。日本損害保険協会より寄贈、団本部へ配置。
平成 23 年	2月 24 日	救助工作車購入、消防本部へ配置。
平成 23 年	2月 25 日	消防ポンプ自動車 CD－I 型購入、安芸分団へ配置。
平成 23 年	4月 1 日	職員 2名採用。実員 40名。
平成 24 年	2月 8 日	消防ポンプ自動車 CD－I 型購入、川北分団へ配置。
平成 24 年	3月 31 日	職員 4名退職。実員 36名。
平成 24 年	4月 1 日	職員 4名採用。高知県消防防災航空隊へ 1名出向。実員 39名。
平成 24 年	7月 12 日	新消防庁舎工事起工。
平成 25 年	1月 18 日	高規格救急車ハイメディック購入、消防本部へ配置。
平成 25 年	3月 19 日	消防ポンプ自動車 CD－I 型購入、伊尾木分団へ配置。
平成 25 年	3月 20 日	新消防庁舎工事竣工。
平成 25 年	3月 25 日	災害対応通信システムとして、消防救急デジタル無線・消防指令台整備。
平成 25 年	3月 31 日	9代目消防長小松敏伸氏退任。
		本部次長兼署長小松昌一氏退任。
		職員 1名退職。実員 36名。

平成 25 年 4 月 1 日 消防本部に消防課を設置。  
10 代目消防長に仙頭義文氏就任。  
本部次長兼署長兼課長に松本照秋氏就任。  
職員 1 名採用。実員 37 名。

平成 26 年 3 月 17 日 消防ポンプ自動車 CD-I 型購入、土居分団へ配置。  
高規格救急車ハイメディック、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。  
軽四輪多目的車購入、消防本部へ配置。

平成 27 年 3 月 17 日 消防ポンプ自動車 CD-I 型購入、穴内分団へ配置。  
多機能型運搬車購入、消防本部へ配置。

平成 28 年 3 月 15 日 消防ポンプ自動車 CD-I 型購入、消防本部へ配置。  
職員 1 名採用。高知県消防防災航空隊へ派遣していた消防職員 1 名戻る。高知県消防防災航空隊へ 1 名出向。実員 38 名。

平成 29 年 1 月 21 日 消防団運搬車 2 台購入、土居分団・井ノ口分団へ配置。  
10 代目消防長仙頭義文氏退任。実員 37 名。

平成 29 年 4 月 1 日 11 代目消防長に松本龍二氏就任。  
職員 2 名採用。実員 39 名。

平成 29 年 11 月 12 日 消防本部 50 周年記念式典・祝賀会。

平成 29 年 12 月 11 日 消防団本部防災活動車、日本消防協会より寄贈。防災センターへ配置。  
日本消防協会より表彰竿頭綬を授与。

平成 30 年 3 月 6 日 JA 高知県共済農業協同組合より高度救命資機材寄贈。2B 救急車購入、消防本部へ配置。

平成 30 年 3 月 27 日 伊尾木分団下山班屯所新築工事竣工。  
消防団運搬車 2 台購入、中央分団・穴内分団へ配置。

平成 30 年 3 月 31 日 本部次長兼署長兼課長松本照秋氏退任。  
職員 1 名退職。実員 37 名。

平成 30 年 4 月 1 日 本部次長兼署長兼課長に小松定男氏就任。  
職員 1 名採用。実員 38 名。

平成 30 年 4 月 20 日 職員 1 名退職。実員 37 名。

平成 30 年 7 月 31 日 7 代目消防団長野町久壽昭氏退任。

平成 30 年 8 月 1 日 8 代目消防団長に安部正治氏就任。

平成 30 年 11 月 30 日 救助用ボート一式購入、消防本部へ配置。

平成 30 年 12 月 6 日 軽自動車購入、消防本部へ配置。

平成 31 年 3 月 5 日 消防団運搬車 2 台購入、伊尾木分団・畠山分団へ配置。

平成 31 年 3 月 31 日 職員 1 名退職。実員 36 名。

平成 31 年 4 月 1 日 職員 4 名採用。実員 40 名。

令和 元年 9 月 3 日 小型ポンプ B2 級 2 台購入、奈比賀屯所・畠山の和田格納庫へ配置。

令和 元年 12 月 24 日 消防団赤バイク 2 台購入、防災センターへ配置。

令和 2 年 2 月 28 日 消防団運搬車 2 台購入、安芸分団、東川分団へ配置。

令和 2 年 3 月 31 日 11 代目消防長松本龍二氏退任。  
本部次長兼消防署長小松定男氏退任。  
職員 4 名退職。実員 36 名。

令和 2年 4月 1日	12代目消防長に松田静幸氏就任。 本部次長兼消防署長に仙頭稔史氏就任。 職員 1名採用。高知県消防防災航空隊へ派遣していた消防職員 1名戻る。実員 38名。
令和 2年 8月 5日	小型ポンプB 3級 2台購入、内原野格納庫・上尾川格納庫へ配置。
令和 2年 10月 15日	全国共済農業協同組合連合会高知県支部より高度救命資機材・消防本部指令車を寄贈。消防本部へ配置。
令和 2年 11月 17日	消防団ポンプ車 2台購入、赤野分団・井ノ口分団へ配置。
令和 2年 11月 19日	消防団ポンプ車 2台購入、中央分団・畠山分団へ配置。
令和 2年 12月 23日	消防団救命ボート 12隻購入、10分団・2班（江川・下山）へ配置。
令和 3年 2月 26日	消防団運搬車 2台購入、赤野分団・川北分団へ配置。
令和 3年 3月 13日	消防団ポンプ車 1台購入、東川分団へ配置。
令和 3年 3月 31日	12代目消防長松田静幸氏退任。職員 1名退職。実員 37名。
令和 3年 4月 1日	13代目消防長仙頭稔史氏就任。 本部次長兼消防署長寺岡勝浩氏就任。実員 37名。
令和 3年 7月 5日	小型ポンプC 1級 2台購入。
令和 3年 9月 29日	電動式大型油圧救助器具（ラムシリンダー）購入、消防本部へ配置。
令和 4年 1月 13日	職員 1名退職。実員 36名。
令和 4年 1月 14日	消防救急デジタル携帯型無線機購入、消防本部へ配置。
令和 4年 3月 31日	職員 1名退職。実員 35名。
令和 4年 4月 1日	職員 2名採用。実員 37名。
令和 4年 7月 6日	小型ポンプC 1級 1台購入、畠山分団へ配置。
令和 4年 7月 31日	8代目消防団長安部正治氏退任。
令和 4年 8月 1日	9代目消防団長に中川洋文氏就任。
令和 4年 11月 15日	高度救急処置シミュレーター購入、消防本部へ配置。
令和 5年 3月 31日	13代目消防長仙頭稔史氏退任。 職員 2名退職。実員 35名。
令和 5年 4月 1日	14代目消防長久川陽氏就任。（市役所より出向） 職員 2名採用。実員 38名。
令和 5年 8月 30日	災害対策用ドローン 1台購入、消防本部へ配置。
令和 5年 11月 日	消防団ポンプ車購入、穴内分団・川北分団（江川班）へ配置。
令和 6年 3月 31日	課長補佐兼総務係長陰山卓生氏退任。職員 1名退職。実員 37名。
令和 6年 4月 1日	職員 1名採用。実員 38名。
令和 6年 10月 15日	消防団小型ポンプ付積載車・小型ポンプB 2級購入。赤野分団へ配置。
令和 6年 11月 14日	消防団小型ポンプ付積載車・小型ポンプB 2級購入。伊尾木分団（下山班）へ配置。
令和 7年 3月 15日	高規格救急自動車（災害対応特殊救急自動車）購入、消防本部へ配置。
令和 7年 3月 31日	本部次長兼消防署長寺岡勝浩氏退任。職員 2名退職。実員 36名。
令和 7年 4月 1日	本部次長兼消防署長公文敬三氏就任。職員 2名採用。実員 38名（うち 1名、高知県消防航空隊へ出向）。
令和 7年 4月 1日	安芸市消防団新屯所（穴内分団・中央分団・川北分団・伊尾木分団）運用開始。

# 令和 6 年 総 務

## 【庶 務】

1. 安芸市の位置
2. 安芸市の市勢
3. 消防職団員消防車に対する比較
4. 現有消防力に対する基準数(消防署)
5. 安芸市消防の組織
6. 事務分掌
7. 消防庁舎等の現況

## 【財 政】

1. 財政状況(平成14 年度～令和 6 年度)
2. 令和 5 年度・令和 6 年度決算額

## 【人事教養】

1. 職員定数及び配置状況
2. 職員勤続年数状況
3. 職員年齢別状況
4. 職員研修修了状況
5. 職員特殊技能資格取得状況
6. 歴代消防長・署長
  - (ア) 歴代消防長
  - (イ) 歴代消防署長

※令和 7 年 4 月 1 日現在で収録

# 庶務

## 1. 安芸市の位置

位 置	東 北 緯	133°45' 33°30'
面 積		317.16 km <sup>2</sup>

## 2. 安芸市の市勢

国 勢 調 査 (令和2年)	人 口	16,243人
	世 带 数	7,295世帯
住 民 基 本 台 帳 (R. 7. 3. 31)	人 口	15,377人
	世 带 数	7,834世帯

## 3. 消防職団員消防車に対する比較

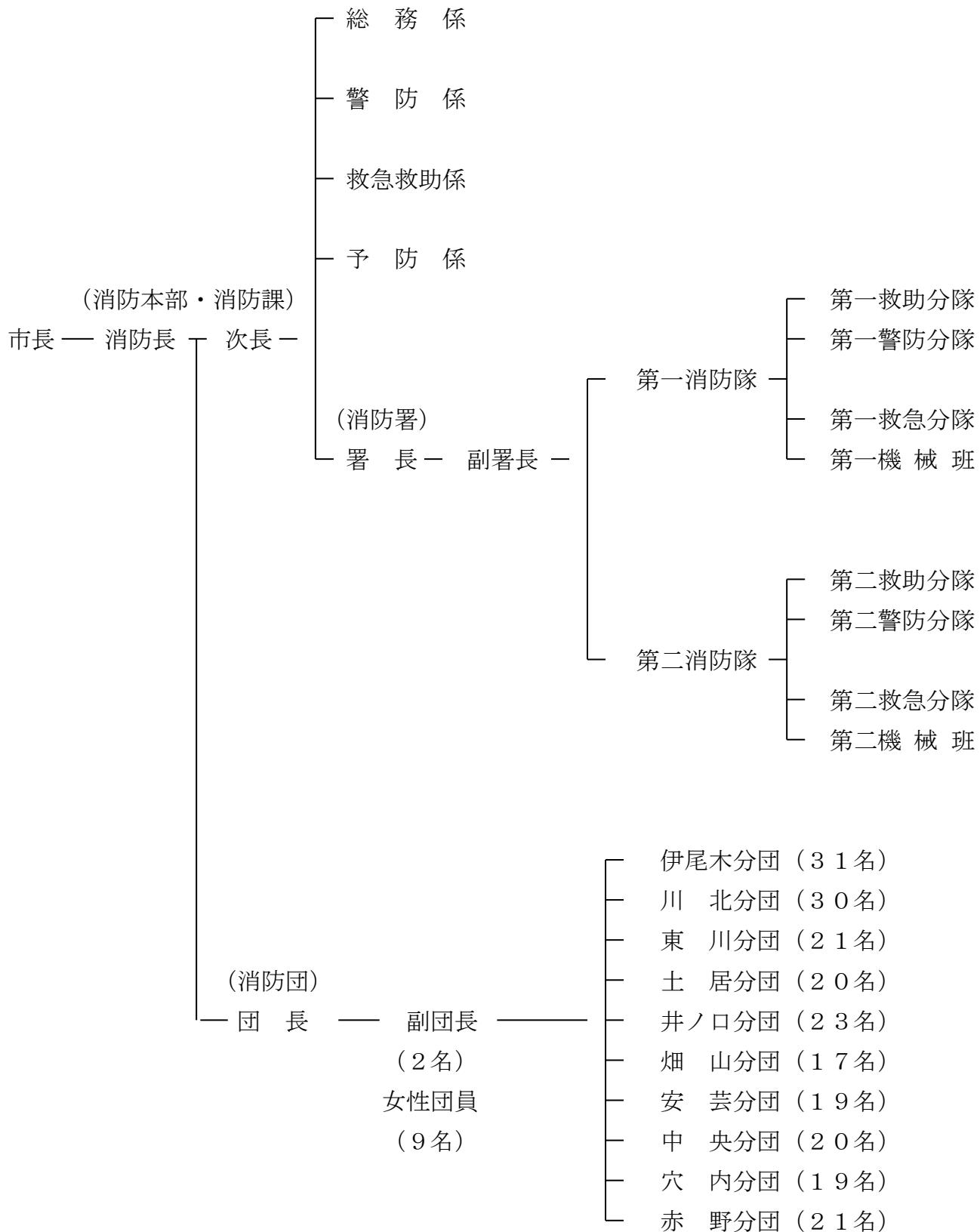
		面 積 (km <sup>2</sup> )	人 口 (人)	世 带 数 (世帯)	備 考
消防職員 1 人につき	人	8.34	(427) 405	(192) 206	( )は国調に 対するもの 他は住民基本 台帳
消防団員 1 人につき	人	1.36	(70) 66	(31) 34	
ポンプ車 1 台につき	署 2 台	158.6	(8,122) 7,689	(3,648) 3,917	
	団 10 台	31.7	(1,624) 1,538	(730) 783	

## 4. 現有消防力に対する基準数（消防署）

区 分		基 準		過 (+) 現 有 不 足 (-)	
施 設	署 所	市街地 (10.000=1)	1	1	0
	消 防 車	消 防 車	2	2	0
	救 急 車	救 急 車	2	2	0
人 員	署 所 要 員	消 防 隊 員	27	17	-10
		救 急 隊 員	18	12	-6
		救 助 隊 員	15	0	-15
		通 信 要 員	3	0	-3
		予 防 要 員	4	1	-3
		指 挥 隊 員	3	3	0
		庶 務 等	3	3	0
		現有消防力 (R. 7. 4. 1.)			
備 考					

## 5. 安芸市消防の組織

消 防 機 關



## 6. 事務分掌

### 総務係

1. 消防予算に関すること。
2. 公印の保管、文書の収発に関すること。
3. 条例、規則等の改廃に関すること。
4. 消防施設の營繕管理及び総合企画に関すると。
5. 職員の人事教養及び福利厚生に関すること。
6. 職員の被服等の貸与品の調達支給に関すると。
7. 消防団事務に関すること。
8. 高知県市町村総合事務組合事務に関すること。
9. 職員委員会に関すること。
10. 表彰に関すること。
11. 服務に関すること。
12. その他、他の係に属さないこと。

### 救急救助係

1. 救急法の指導に関すること。
2. 救急用資機材の配備保全に関すること。
3. 救急車両の整備保全に関すること。
4. 救急業務の計画及び調査研究に関すること。
5. 医療機関との連絡調整に関すること。
6. 救急に係る技術、装備の研究に関すること。
7. 搬送・出動等の証明に関すること。
8. 救助用資機材の配備保全に関すること。
9. 救助車両の整備保全に関すること。
10. 救助業務の計画及び調査研究に関すること。
11. 救助に係る技術、装備の研究に関すること。
12. 水中の救助に関すること。
13. その他、救急救助に関すること。

### 警防係

1. 水防、警防計画に関すること。
2. 災害時の警戒防御、応急対策に関すること。
3. 消防通信施設の運用管理に関すること。
4. 火災警報の発令解除に関すること。
5. 消防気象に関すること。
6. 消防地理及び水利に関すること。
7. 消防用機械器具の整備保全に関すること。
8. 公衆の出入りする場所等の警備に関すること。
9. 消防職、団員の訓練、礼式に関すること。
10. 自衛消防隊の訓練指導に関すること。
11. 防災訓練に関すること。
12. 消防車両等の整備に関すること。
13. 応援協定、広域受援に関すること。
14. その他、警防事務に関すること。

### 予防係

1. 危険物の許可、認可、届出、検査に関すること。
2. 防火管理者に関すること。
3. 消防用設備の検査及び指導に関すること。
4. 予防査察に関すること。
5. 火災予防の指導取締りに関すること。
6. 防火思想の普及、啓発に関すること。
7. 建築物の同意事務に関すること。
8. 化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)に基づく意見書の交付に関すること。
9. 火薬類取り締まりに関すること。
10. 高圧ガス保安法に関すること。
11. 防火クラブに関すること。
12. 火災等の原因調査に関すること。
13. 火災等の報告等に関すること。
14. 罹災証明に関すること。
15. 火災統計に関すること。
16. その他、予防・原因調査に関すること。

## 7.消防庁舎等の現況

		床面積	建築面積 (延べ面積)	敷地面積	建築物構造
1 階	エントランスホール 車 庫 消 毒 室 出 動 準 備 室 油 庫 男女共用トイレ	892.57 m <sup>2</sup>			
2 階	事 務 室 更 衣 室 放 送 室 通 信 指 令 室 通 信 機 器 室 消 防 長 室 食 堂 仮 眠 室 資 材 室 市民ギャラリー 多目的トイレ 男子トイレ 女子トイレ	881.31 m <sup>2</sup>	1,023.61 m <sup>2</sup> (3,051.38 m <sup>2</sup> )	4,462.57 m <sup>2</sup>	1階鉄筋コンクリート造 2~3階鉄骨造
3 階	避難室 (347 m <sup>2</sup> ) 会議室相談室 消防団本部 災害対策本部 女子仮眠室 倉 庫 男子トイレ 女子トイレ	881.31 m <sup>2</sup>			
4 階	発電機室 (58時間対応)	66.49 m <sup>2</sup>			
訓 練 施 設	訓 練 主 塔 訓 練 副 塔	219.8 m <sup>2</sup> 109.9 m <sup>2</sup>			鉄骨造
	ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出 引 揚 救 助 ほ ふ く 救 出		障 害 突 破 は し ご 登 は ん ロープ応用登はん		

## 財 政

### 1. 財政状況（平成14年度～令和6年度）

年 度	区分	一般会計決算額 (円)	消防決算額 (円)	比率	住民基本台帳		消 防 費	
					人口	世帯	1人 (円)	1世帯 (円)
14		13,471,163,450	357,222,708	2.65	21,739	8,982	16,432	39,771
15		12,644,516,194	327,126,765	2.59	21,481	8,916	15,229	36,690
16		11,316,555,887	346,900,300	3.07	21,866	8,982	15,865	38,622
17		12,025,447,644	329,192,639	2.74	21,248	8,918	15,493	36,913
18		10,392,795,990	304,887,338	2.93	21,111	8,964	14,442	34,012
19		10,826,719,000	320,431,203	2.96	20,392	8,875	15,714	36,105
20		10,791,726,326	299,002,535	2.77	20,135	8,879	14,850	33,675
21		11,591,112,476	367,044,206	3.17	19,899	8,869	18,445	41,385
22		11,497,003,171	352,299,110	3.06	19,642	8,830	17,936	39,898
23		13,292,394,000	485,313,255	3.65	19,377	8,793	25,046	55,193
24		12,932,834,276	1,290,297,259	9.98	19,106	8,702	67,534	148,276
25		12,398,113,360	328,716,707	2.65	18,824	8,669	17,463	37,919
26		12,687,579,362	391,492,026	3.09	18,458	8,564	21,210	45,714
27		13,804,088,550	352,233,043	2.55	18,100	8,496	19,460	41,459
28		12,843,049,671	361,237,991	2.81	17,786	8,442	20,310	42,791
29		12,431,587,993	391,513,368	3.15	17,548	8,384	22,311	46,698
30		12,667,872,285	368,442,523	2.91	17,266	8,314	21,339	44,316
元		13,945,871,975	380,701,494	2.73	16,966	8,242	22,439	46,190
2		16,793,764,827	497,627,041	2.96	16,716	8,154	29,770	61,029
3		16,744,044,047	309,580,105	1.85	16,869	8,245	18,352	37,548
4		17,853,882,265	392,203,504	2.20	16,097	8,002	24,365	49,013
5		21,831,554,308	552,145,659	2.53	15,743	7,912	35,072	69,786
6		15,111,834,826	876,523,601	5.80	15,377	7,834	57,002	111,887

令和5年度・令和6年度決算額（内訳）

項目	節	令和5年度金額	令和6年度	
			金額	消防費決算に対する割合
常備消防費	給与	129,210,975	134,888,700	34.40%
	職員手当	86,365,863	89,207,492	
	共済費	41,396,181	43,940,308	
	報償費	0	5,500	
	旅費	437,867	961,345	
	需用費	12,739,409	10,735,613	
	役務費	2,758,526	4,039,144	
	委託料	7,887,105	8,121,450	
	使用料及び賃借料	602,964	610,603	
	工事請負費	1,100,000	0	
	備品購入費	1,564,871	2,624,430	
	負担金補助及び交付金	4,017,018	6,148,120	
	公課費	219,800	212,800	
小計		288,300,579	301,495,505	
非常備消防費	報酬	10,867,354	9,820,520	3.27%
	報償費	802,400	1,505,400	
	旅費	5,213,867	3,823,764	
	需用費	2,924,387	2,594,768	
	役務費	642,759	760,943	
	委託料	258,720	278,520	
	使用料及び賃借料	145,629	135,036	
	備品購入費	5,259,320	1,028,940	
	負担金補助及び交付金	8,112,068	8,326,980	
	公課費	271,800	459,000	
	小計	34,498,304	28,733,871	
消防施設費	旅費	31,000	42,020	16.75%
	役務費	1,541,210	1,850,060	
	委託料	51,106,000	4,400,000	
	使用料及び賃借料	13,280	14,360	
	工事請負費	353,100	57,035,000	
	備品購入費	9,595,080	83,397,490	
	公課費	12,400	57,800	
	小計	62,652,070	146,796,730	
消防分団屯所整備事業	需要費	1,010,254	2,347,432	45.44%
	役務費	1,636,829	1,553,423	
	委託料	0	10,353,200	
	工事請負費	102,685,000	358,292,000	
	公有財産購入費	18,349,932	25,301,007	
	備品購入費	39,900,960	292,094	
	負担金補助及び交付金	330,000	66,000	
	補償補てん及び賠償金	644,266	49,263	
	小計	164,557,241	398,254,419	
災害対策費	需用費	194,998	0	0.14%
	役務費	25,440	16,000	
	委託料	1,875,500	1,166,000	
	原材料費	41,527	61,076	
	小計	2,137,465	1,243,076	
合計		552,145,659	876,523,601	100%

# 人事教養

## 1. 職員定員及び配置状況

階級別 区分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	無階級	計
定員									40
実員		1	9	7	8	5	8		38
配置	本部	1	4	1	1		2		9
	署		5	6	7	5	6		29

## 2. 職員勤続年数状況

階級別 区分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	無階級	計
5年未満		1					7		8
5年以上～10年未満						5	1		6
10年以上～15年未満					6				6
15年以上～20年未満				3	2				5
20年以上～25年未満				2					2
25年以上～30年未満				2					2
30年以上			8	1					9
計		1	8	8	8	5	8		38

### 3. 職員年齢別状況

階級別 区分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	無階級	計
18歳以上～20歳未満						3		3
20歳以上～25歳未満						3		3
25歳以上～30歳未満					3	2		5
30歳以上～35歳未満				3	2			5
35歳以上～40歳未満				5				5
40歳以上～45歳未満			6					6
45歳以上～50歳未満		1	1					2
50歳以上～55歳未満		8						8
55歳以上	1							1
計	1	9	7	8	5	8		38

### 4. 職員研修修了状況

階級別 区分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	無階級	計
消防大学	上級幹部科							
	新任消防長科	1						1
	予防科		1					1
	警防科							
	火災調査科		1					1
高知県消防学校		9	7	8	5	6		35
救急専科教養		9	2					11
救急Ⅱ課程		9	2					11
救急標準課程			5	8	5	6		24
救急救命士		3	5	5	1			14

## 5. 職員特殊技能資格取得状況

階級別 人 数		消防 司令 長	消防 司令	消防 司令 補	消防 士 長	消防 副 士 長	消 防 士	無 階 級	計
区 分		1	9	7	8	5	8		38
第二種	大型免許								0
	普通免許								0
第一種	大型免許			1					1
	中型免許				7	5	5		17
	中型免許(8t限定)	1	9	4					14
	準中型免許						3		3
	普通免許								0
	自動二輪		4	7	3	1	4		19
特殊無線技師			4	7	8	5	6		30
消防設備点検資格者									0
防火対象物点検資格者									0
予防技術資格者(設備)			5		2				7
予防技術資格者(査察)			5		3				8
予防技術資格者(危険物)			5		1				6
危険物取扱者免許(乙第4類)			6	7	5	4	2		24
危険物取扱者免許(丙)			5	1	1				7
消防設備士(乙類第1類)			3	1					4
消防設備士(乙類第4類)			3	1					4
消防設備士(乙類第5類)			1	1					2
消防設備士(乙類第6類)			3	2	1				6
潜水士			9	7	7	4	2		29
小型船舶操縦士						1			1
可搬消防ポンプ等整備資格者			1						1
小型移動式クレーン			7	4	5	5	1		22
玉掛け			7	4	5	5	1		22

## 6. 歴代消防長・署長

### (ア) 歴代消防長

代	氏名	在職期間	備考
初代	山崎 初男	自昭和42年4月1日 至昭和49年9月4日	7年5ヶ月 安芸市長 事務取扱い
2代	岡村 喜郎	自昭和49年9月5日 至昭和51年3月31日	1年7ヶ月 安芸市長 事務取扱い
3代	伊藤 嘉幸	自昭和51年4月1日 至昭和60年3月31日	9年
4代	山崎 獻	自昭和60年4月1日 至平成4年3月31日	7年
5代	仙頭 齊	自平成4年4月1日 至平成6年3月31日	2年
6代	森田 修一	自平成6年4月1日 至平成12年3月31日	6年
7代	横山 壽美男	自平成12年4月1日 至平成20年3月31日	8年
8代	有澤 誠郎	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	1年
9代	小松 敏伸	自平成21年4月1日 至平成25年3月31日	4年
10代	仙頭 義文	自平成25年4月1日 至平成29年3月31日	4年
11代	松本 龍二	自平成29年4月1日 至令和2年3月31日	3年
12代	松田 静幸	自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	1年
13代	仙頭 稔史	自令和3年4月1日 至令和5年3月31日	2年
14代	久川 陽	自令和5年4月1日 至現在	

(イ) 歴代消防署長

代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初代	小 松 亦吾郎	自 昭和42年 4月 1日 至 昭和50年 3月 31日	8年 本部次長兼任
2代	伊 藤 嘉 幸	自 昭和50年 4月 1日 至 昭和54年 3月 31日	4年 消防長兼任
3代	森 澤 民 平	自 昭和54年 4月 1日 至 昭和59年 3月 31日	5年 本部次長兼任
4代	島 崎 賀 行	自 昭和59年 4月 1日 至 昭和62年 3月 31日	3年 本部次長兼任
5代	楠 瀬 要 一	自 昭和62年 4月 1日 至 平成 6年 3月 31日	7年 本部次長兼任
6代	横 山 壽美男	自 平成 6年 4月 1日 至 平成12年 3月 31日	6年 本部次長兼任
7代	小 松 精 一	自 平成12年 4月 1日 至 現在13年 3月 31日	1年 本部次長兼任
8代	大 野 雄 康	自 平成13年 4月 1日 至 現在18年 3月 31日	5年 本部次長兼任
9代	有 澤 誠 郎	自 平成18年 4月 1日 至 現在20年 3月 31日	2年 本部次長兼任
10代	小 松 昌 一	自 平成20年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日	5年 本部次長兼任
11代	松 本 照 秋	自 平成25年 4月 1日 至 平成30年 3月 31日	5年 本部次長兼任
12代	小 松 定 男	自 平成30年 4月 1日 至 令和 2年 3月 31日	2年 本部次長兼任
13代	仙 頭 稔 史	自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日	1年 本部次長兼任
14代	寺 岡 勝 浩	自 令和 3年 4月 1日 至 令和 7年 4月 1日	4年 本部次長兼任
15代	公 文 敬 三	自 令和 7年 4月 1日 至 現在	本部次長兼任

# 令和 6 年 警防

安芸市消防本部

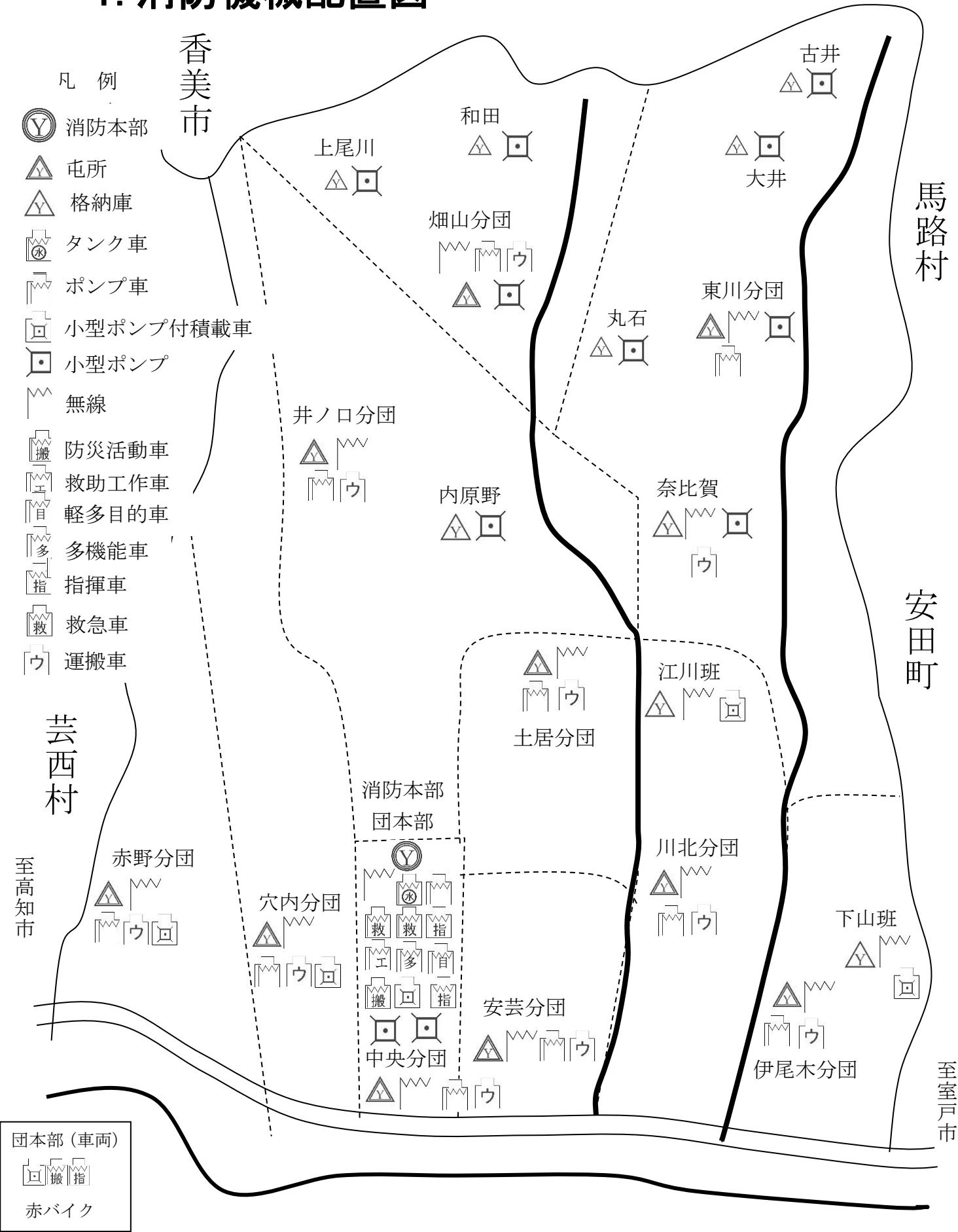
(機材・水利)

1. 消防機械配置図
2. 消防水利状況（防火水槽）
3. 消防団現有配備・消防水利充足状況
4. 消防署現有配備・消防通信設備状況
5. 消防資器材

(通 信)

1. 警防(通信 デジタル波)  
(固定局 安芸市防災行政無線)
2. 通信連絡系統表
3. サイレン遠隔制御装置  
(安芸市防災行政無線・デジタル波)

## 1. 消防機械配置図



# 太 平 洋

## 2. 消防水利状況（防火水槽）

地区名	設置場所	耐震	容量 (t)	完成年度	地区名	設置場所	耐震	容量 (t)	完成年度
市街地 (21)	黒鳥		20t級		柄ノ木 (1)	東地		20t級	
	西浜	耐震	40t級	平成10年度		下尾川		20t級	
	西浜	耐震	40t級	平成30年度	尾川 (4)	下尾川		20t級	
	西浜	耐震	40t級	平成25年度		上尾川		20t級	
	西浜	耐震	100t級	令和2年度		上尾川		20t級	
	東浜	耐震	40t級	平成13年度		玉造		20t級	
	東浜	耐震	40t級	平成30年度		春日		20t級	
	宝永町	耐震	40t級	平成13年度		上中村	耐震	40t級	平成28年度
	津久茂町		20t級			溝ノ辺	耐震	40t級	平成10年度
	津久茂町		20t級			長屋		40t級	
	千歳町		20t級			長屋	耐震	40t級	令和2年度
	千歳町	耐震	40t級	平成8年度		西木戸	耐震	40t級	平成10年度
	本町五丁目	耐震	40t級	平成12年度		廊中		40t級	
	本町五丁目	耐震	40t級	令和6年度		廊中		40t級	
	本町四丁目		20t級			僧津		20t級	
	久世町	耐震	40t級	令和6年度		僧津		20t級	
	本町三丁目	耐震	40t級	平成9年度		僧津	耐震	40t級	平成16年度
	寿町		20t級	平成2年度		僧津	耐震	40t級	令和3年度
	本町一丁目		40t級			僧津	耐震	40t級	令和4年度
	幸町	耐震	40t級	平成18年度		新町		20t級	
	港町一丁目	耐震	40t級	令和4年度		西の島	耐震	40t級	平成21年度
赤野 (11)	叶岡		40t級			中村		20t級	
	叶岡前		40t級			西ノ岡		20t級	
	西ノ岡		20t級			西ノ岡		20t級	
	西寄		40t級			コウジ		40t級	
	東寄		20t級			八幡		20t級	
	東寄	耐震	20t級	平成10年度		舞ヶ丘		20t級	
	桜浜		40t級			横山	耐震	40t級	平成10年度
	東赤野		20t級			横山		20t級	
	山田		40t級			折坂	耐震	40t級	平成26年度
	八流		40t級			折坂		20t級	
	太夫屋地		20t級			折坂		20t級	
穴内 (20)	八流		20t級			堂ノ尾		20t級	
	堀切		20t級			堂ノ尾		20t級	
	堀切		20t級			内原野	耐震	40t級	平成10年度
	六丁		40t級			内原野	耐震	40t級	平成19年度
	六丁		40t級			内原野	耐震	30t級	平成26年度
	六丁		20t級			内原野	耐震	40t級	平成17年度
	西地	耐震	40t級	平成12年度		西組		20t級	
	西地		20t級			中組	耐震	40t級	平成10年度
	塩屋		20t級			中組		20t級	
	奥ノ谷		20t級			中組		20t級	
	八丁ノ下		20t級			東組	耐震	40t級	平成16年度
	八丁ノ下		20t級			東組		40t級	
	八丁		20t級			東組		20t級	
	立花		20t級			岡		40t級	
	立花	耐震	40t級	平成19年度		岡		20t級	
(14)	刑部		20t級			宮田岡	耐震	40t級	平成19年度
	刑部	耐震	40t級	平成28年度		白馬		40t級	
	新城		20t級			不動	耐震	40t級	平成13年度
	新城		20t級			大山	耐震	40t級	平成12年度
	大平		20t級			大山		20t級	
井ノ口 (14)	高台寺		20t級			西ノ浜		20t級	
	高台寺		20t級			浜ノ西		20t級	
	高台寺		20t級			浜ノ西		20t級	
	一ノ宮		20t級			東地		20t級	
	一ノ宮		40t級			名綱	耐震	20t級	
	一ノ宮		20t級			寺内		40t級	
	一ノ宮	耐震	40t級	令和4年度		谷口		40t級	
	黒岩	耐震	40t級	平成10年度		奈路		20t級	
	国重		20t級			和田		40t級	
	宮ノ上	耐震	40t級	平成9年度		大井		20t級	
	宮ノ上		40t級		大井 (3)	中村		20t級	
	山田		20t級			丸石		20t級	
	山田	耐震	40t級	平成10年度		大井		20t級	
	沢ノ平		40t級		黒瀬 (1)	黒瀬		20t級	

地区名	設置場所	耐震	容量 (t)	完成年度	地区名	設置場所	耐震	容量 (t)	完成年度
古井 (1)	伊田淵		20t級						
奈比賀 (2)	奈比賀 大江		20t級 40t級						
入河内 (3)	入河内		20t級					合計 139	
	入河内		20t級						
	入河内		20t級						

### 3. 消防団現有配備・消防水利充足状況

区分	種 別	数 量	備 考
消防ポンプ	ポンプ車	10	安芸分団・中央分団・赤野分団・穴内分団 井ノ口分団・畠山分団・土居分団・川北分団 伊尾木分団・東川分団
	小型ポンプ付積載車	4	赤野・穴内・下山・江川
	小型ポンプ 小型ポンプ付軽消防自動車	11 1	東川地区5・畠山地区3・内原野1・団本部2 団本部
消防水利	消 火 案	666	市街地・土居・穴内・井ノ口 川北・伊尾木・赤野・他
	貯 水 槽 耐震性貯水槽	97 42	40t(25) 20t(72) 100t(1) 40t(38) 30t(1) 20t(2)

### 4. 消防署現有配備・消防通信設備状況

消防ポンプ自動車	CD-I型	1台
	水1-A型	1台
	予備車	1台
救急車	高規格型	2台
	予 備 車	1台
救助工作車		1台
多機能車		1台
軽多目的車		1台
指揮車		1台
小型ポンプ		2台
消防用無線局		
デジタル波	基地局(20W)	1基(安芸市消防本部内)
	固定局(50mW)	2基(安芸市消防本部内・大山中継局内)
	移動局(10W)	39基
	"(5W)	16基
防災行政無線		
デジタル波	基地局(10mW)	1基(安芸市防災センター内)
	中継局(10mW・5W)	1基(旭ヶ丘中継所内)
	再送信子局(1mW・1W)	1基(下山大山再送信子局内)
	固定局(300mW・100mW・10mW・5mW・1mW)	69基

## 5. 消防資機材

	品名	数量		品名	数量
一般救助器具	三連梯子	1	切断破壊器具	エアーゾー	1
	ワイヤー梯子	1		電気ハンマードリル	2
	空気式救助マット	1		特殊斧（弁慶）	4
	救命索発射銃	2		指輪切断器具	1
	舟形担架	2		エンジンカッター	2
	救助用縛帶	1		チーンソー	2
	フルボディハーネス	10		レシプロソー	1
	滑車	15		オグラ（マルチ）一式	1
	救助安全マット	3		オグラ（コンビ）一式	2
	張力計	1		ルーカス e - ドロリック（スプレッダー）	1
	マンホール救助資機材一式	1		ルーカス e - ドロリック（カッター）	1
	山岳用救助器具	各種		油圧ジャッキ	2
水難救助器具	カラビナ	各種	重量物排除器具	マイティーバッグ一式	2
	ピタゴール縛帶	4		マイティーバッグ用マット	8
	バーティカルストレッチャー	1		チルホール	1
	タイタン	1		空気呼吸器一式（ポンベ込）	15
	サバイバースリング	1	隊員保護器具	救助大会用呼吸器	2
				空気呼吸器用予備ポンベ	12
				耐電防護資機材一式	3
				特殊手袋（ケブラー製）	37
	個人用アクアラング一式	15		陽圧式化学防護服	2
	アクアラング用ポンベ	8		ガス検知器	1
水難救助器具	BC ジャケット	4	照明・その他の器具	発電機	8
	水中ライト	2		投光器	10
	救命胴衣	23		空気充填機	1
	救命浮環（大2・小2）	4		ジェットシューター	23
	レスキューチューブ	1		寝袋	4
	潜水用ヘルメット	12		送排風機一式	1
	救助用ボート	1		ファイヤーブランケット	1
	船外機一式	1			

## 1. 警防（通信 デジタル波）

番号	区分 電波の形式	局の種類	呼出名称	空中線 電力	設置場所及び 車輌名称等
1	5K80G1D 5K80G1E	基地局	あきしょうぼう	20W	送受信所 大山中継局内 通信所 消防本部内
2	2M50G7W マイクロ波	固定局	あきしょうぼう こてい	50mW	消防本部内
3	"	固定局	あきしょうぼう おおやまこてい	50mW	大山基地局内
4	5K80G1D 5K80G1E	移動局	あきしょうぼう 1	10W	タンク車
5	"	"	あきしょうぼう 2	10W	ポンプ車
6	"	"	あきしょうぼう 3	10W	救助工作車
7	"	"	あきしょうぼう 4	10W	指揮車
8	"	"	あきしょうぼう 5	10W	ポンプ予備車
9	"	"	あきしょうぼう 6	10W	団防災活動車
10	"	"	あきしょうぼう 7	10W	多機能車
11	"	"	あきしょうぼう 8	10W	軽多目的車
12	"	"	あききゅうきゅう 1	10W	救急車予備車
13	"	"	あききゅうきゅう 2	10W	救急車
14	"	"	あききゅうきゅう 3	10W	救急車
15	"	"	あきしょうぼう 9	10W	団指揮車
16	"	"	あきしょうぼう 10	10W	団軽四消防車
17	"	"	あきしょうぼう 20	10W	伊尾木分団ポンプ車
18	"	"	あきしょうぼう 21	10W	伊尾木分団運搬車
19	"	"	あきしょうぼう 22	10W	下山班積載車
20	"	"	あきしょうぼう 23	10W	川北分団ポンプ車
21	"	"	あきしょうぼう 24	10W	川北分団運搬車
22	"	"	あきしょうぼう 25	10W	江川班積載車
23	"	"	あきしょうぼう 26	10W	東川分団ポンプ車
24	"	"	あきしょうぼう 27	10W	奈比賀班積載車
25	"	"	あきしょうぼう 28	10W	土居分団ポンプ車
26	"	"	あきしょうぼう 29	10W	土居分団運搬車
27	"	"	あきしょうぼう 30	10W	井ノ口分団ポンプ車
28	"	"	あきしょうぼう 31	10W	井ノ口分団運搬車
29	"	"	あきしょうぼう 32	10W	畠山分団ポンプ車
30	"	"	あきしょうぼう 33	10W	畠山分団運搬車
31	"	"	あきしょうぼう 34	10W	安芸分団ポンプ車
32	"	"	あきしょうぼう 35	10W	安芸分団運搬車
33	"	"	あきしょうぼう 36	10W	中央分団ポンプ車
34	"	"	あきしょうぼう 37	10W	中央分団運搬車
35	"	"	あきしょうぼう 38	10W	穴内分団ポンプ車
36	"	"	あきしょうぼう 39	10W	穴内分団積載車
37	"	"	あきしょうぼう 40	10W	赤野分団ポンプ車
38	"	"	あきしょうぼう 41	10W	赤野分団積載車
39	"	"	あきしょうぼう 42	10W	穴内分団運搬車
40	"	"	あきしょうぼう 43	10W	赤野分団運搬車
41	"	"	あきしょうぼう 50	10W	卓上固定移動局
42	"	"	あきしょうぼう 51	10W	可搬型移動局
43	"	"	あきしょうぼう 60~75	5W	携帯 1~16

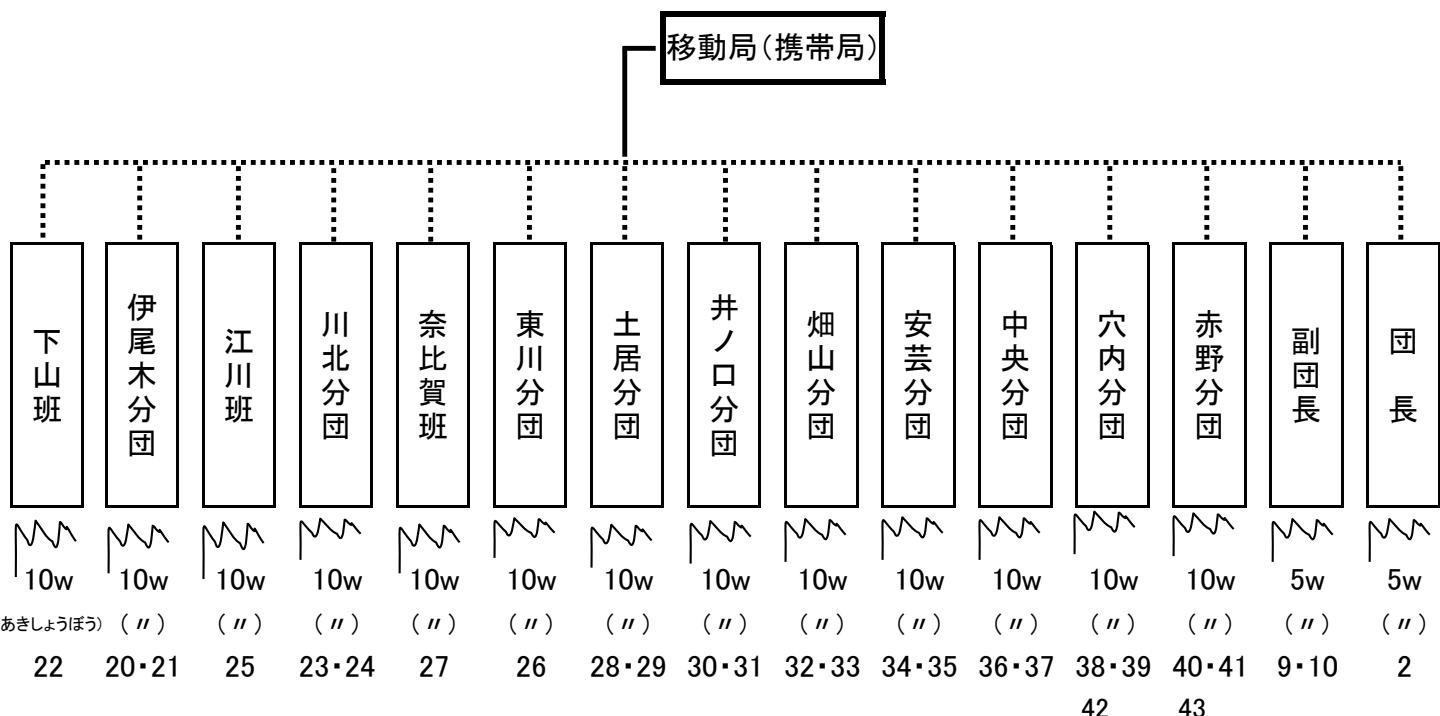
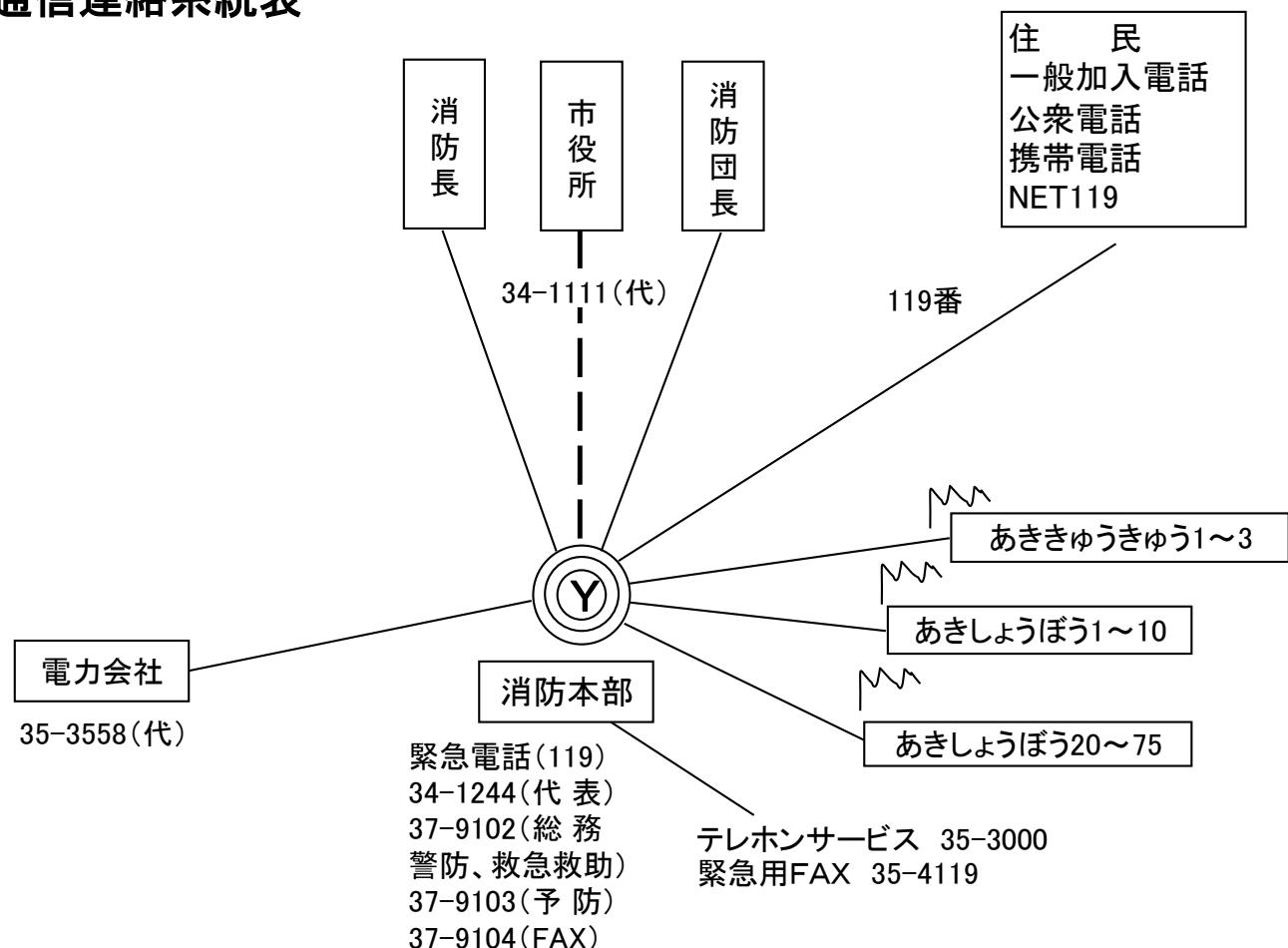
## (固定局—安芸市防災行政無線)

番号	電波の型式	局の種類	子局箇所名	空中線電力	設置場所
1	15K0D7W	固定局	矢ノ丸1丁目		旧安芸市役所西庁舎
2	"	"	安芸中学校	10mW	旧安芸中学校西側市道
3	"	"	桜ヶ丘町	10mW	安芸市総合運動公園
4	"	"	宝永町	10mW	宝永集会所
5	"	"	千歳町		千歳町第2児童遊園
6	"	"	清和町		清和町児童遊園
7	"	"	寿町	1mW	元気館
8	"	"	矢ノ丸3丁目	10mW	安芸市民会館
9	"	"	港町1丁目		浄化センター南
10	"	"	津久茂町	10mW	津久茂公民館
11	"	"	黒鳥	10mW	黒鳥公民館
12	"	"	防災センター		安芸市消防防災センター
13	"	"	伊尾木保育所	100mW	伊尾木保育所
14	"	"	伊尾木西組		伊尾木 1618-2 地先
15	"	"	伊尾木東組	10mW	伊尾木小学校
16	"	"	下山不動		不動公園
17	"	"	下山河野	100mW	下山 1466-5 先堤
18	"	"	下山漁港		伊尾木漁港
19	"	"	下山大山		大山配水地前市道
20	"	"	下山西ノ浜		下山小学校
21	"	"	下山浜ノ西	1mW	下山字石ノ本 2449-1
22	"	"	川北西ノ島	10mW	西ノ島集会所
23	"	"	川北栄町		旧川北園芸
24	"	"	川北上島	100mW	川北公民館
25	"	"	川北清水寺岡	10mW	清水ヶ丘中学校
26	"	"	川北久保田		川北水源地
27	"	"	川北中村		川北甲 412 番 6
28	"	"	川北西ノ岡		キセキレイの里西側市道
29	"	"	川北東ノ岡	300mW	川北甲字荒地 114-2
30	"	"	伊尾木宮田岡	10mW	宮田岡集会所
31	"	"	内原野	10mW	内原野集会所
32	"	"	江川	100mW	江川公民館
33	"	"	奈比賀	1mW	川北小学校奈比賀分校
34	"	"	入河内	1mW	東川公民館
35	"	"	土居春日	10mW	春日玉造集会所

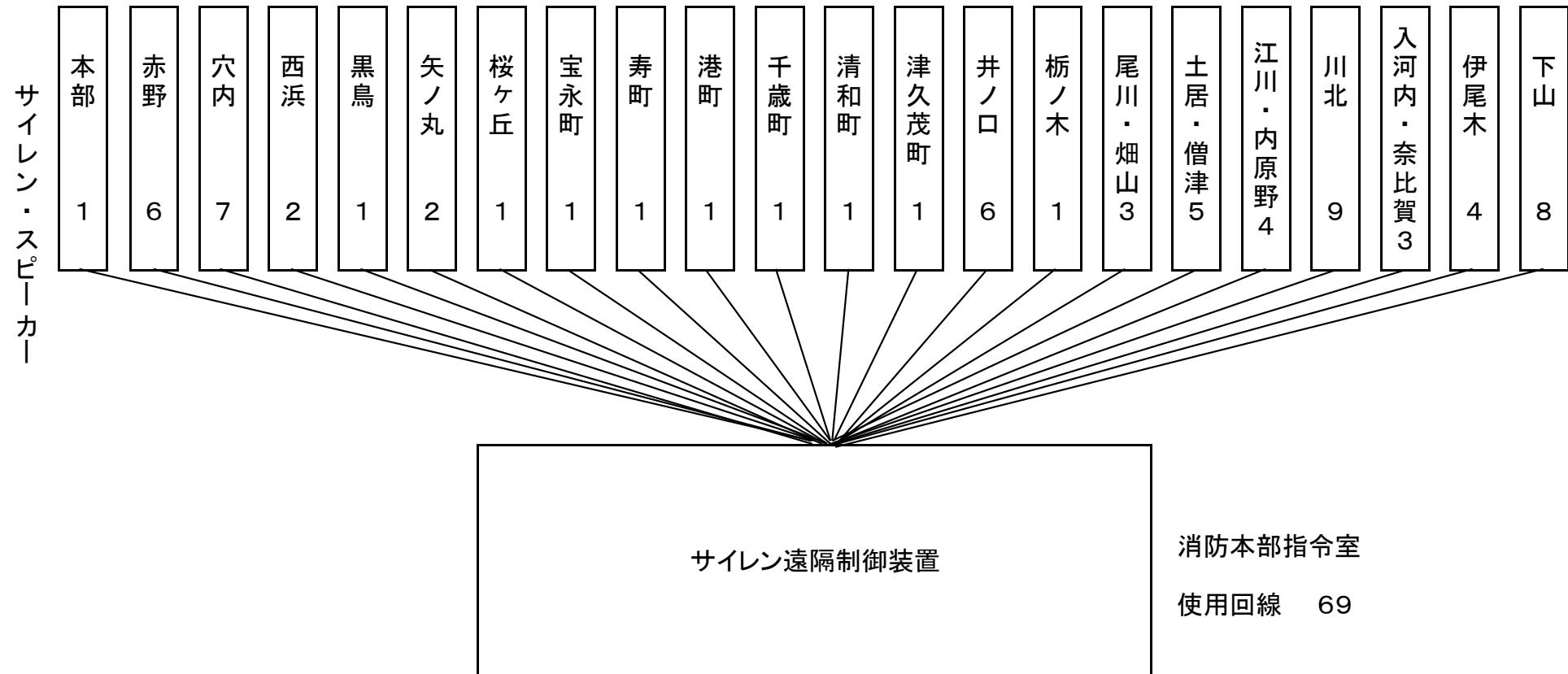
番号	電波の型式	局の種類	子局箇所名	空中線電力	設置場所
3 6	15K0D7W	固定局	土居上中	10mW	土居字上中村 1427-3
3 7	"	"	土居長屋	10mW	土居公民館
3 8	"	"	僧津	10mW	僧津集会所
3 9	"	"	井ノ口高台寺	10mW	高台寺市営住宅内公園
4 0	"	"	井ノ口一ノ宮		岩崎弥太郎生家南東側市道
4 1	"	"	井ノ口黒岩	10mW	井ノ口公民館
4 2	"	"	井ノ口山田	1mW	山田グラウンド
4 3	"	"	栎ノ木	5mW	栎ノ木公民館
4 4	"	"	下尾川	1mW	尾川甲 253-3 地先
4 5	"	"	畠山		畠山公民館
4 6	"	"	穴内腰掛		穴内乙 688-21
4 7	"	"	穴内大平	10mW	穴内大平新城集会所
4 8	"	"	穴内八丁ノ下	300mW	穴内乙 2331-2 地先
4 9	"	"	穴内塩屋	100mW	穴内公民館
5 0	"	"	穴内八流		穴内甲 51-6
5 1	"	"	赤野山田	10mW	赤野山田集会所
5 2	"	"	赤野桜浜		赤野分団屯所
5 3	"	"	赤野東赤野		赤野乙 3061-2
5 4	"	"	赤野西寄	300mW	赤野西寄集会所
5 5	"	"	赤野叶岡	100mW	叶岡集会所
5 6	"	"	井ノ口横立	1mW	横立集会所
5 7	"	"	内原野公園		内原野公園
5 8	"	"	穴内小学校	100mW	穴内小学校
5 9	"	"	赤野住吉		赤野乙 2933-176
6 0	"	"	穴内六丁	1mW	穴内甲 1094 番 2
6 1	"	"	西浜馬ノ丁		西浜 2726 番 5
6 2	"	"	下山河野		下山 1458-6
6 3	"	"	下山西地		下山 839 番 1
6 4	"	"	畠山谷口		畠山甲 777 番 1
6 5	"	"	奈比賀本村		奈比賀分団屯所
6 6	"	"	井ノ口松原		井ノ口乙 3739 番 1
6 7	"	"	川北横山		川北乙 2084 番 4
6 8	"	"	川北八幡		川北甲 5440 番 1
6 9	"	"	安芸市役所		土居 82-1

※空中線電力が空白の子局は受信のみ、アンサーバック無し。

## 2. 通信連絡系統表



### 3. サイレン遠隔制御装置(安芸市防災行政無線・デジタル波)

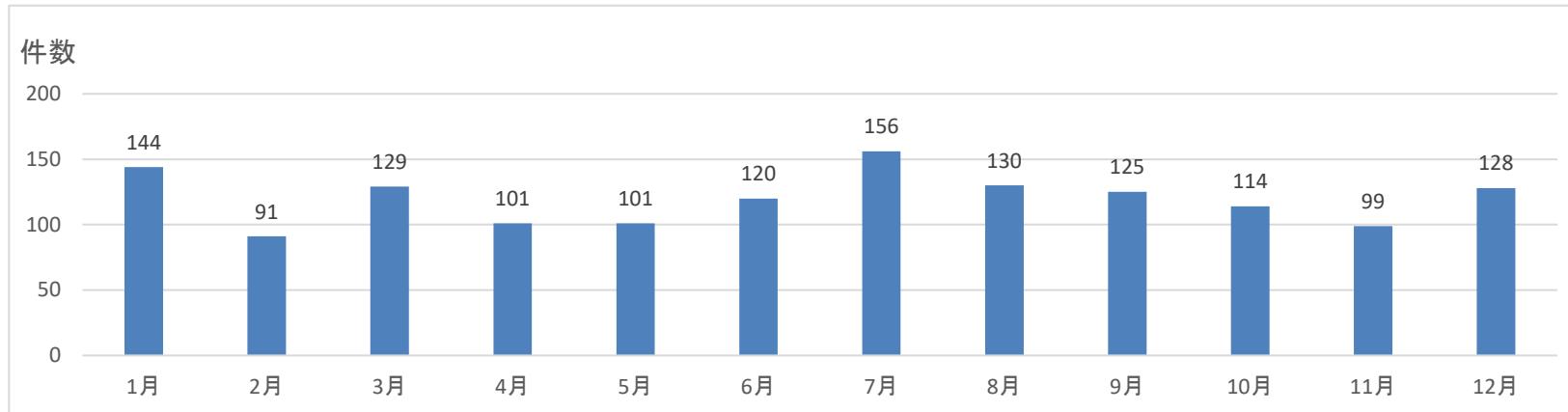


## 令和6年救急統計

- 1 月別出場状況表
- 2 時間帯別出場状況表
- 3 曜日別出場状況表
- 4 事故種別救急出場状況表
- 5 搬送人員
- 6 年齢別・傷害程度別搬送人員
- 7 事故種別理由別不搬送件数
- 8 救急隊員の行った応急処置件数
- 9 覚知別・傷害別件数
- 10 事故種別年齢区分別搬送人員
- 11 事故種別傷害程度別搬送人員
- 12 現場到着所要時間別出場件数
- 13 収容所要時間別搬送人員
- 14 事故種別医療機関別搬送人員
- 15 救急法指導実施状況

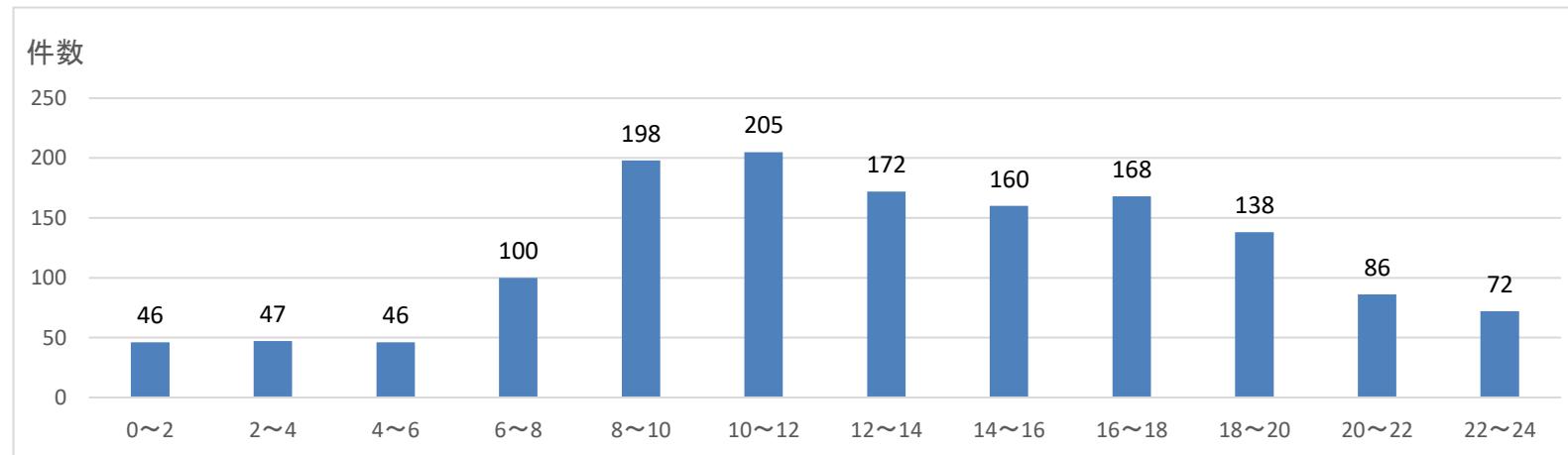
1 月別出場状況表

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	144	91	129	101	101	120	156	130	125	114	99	128	1438



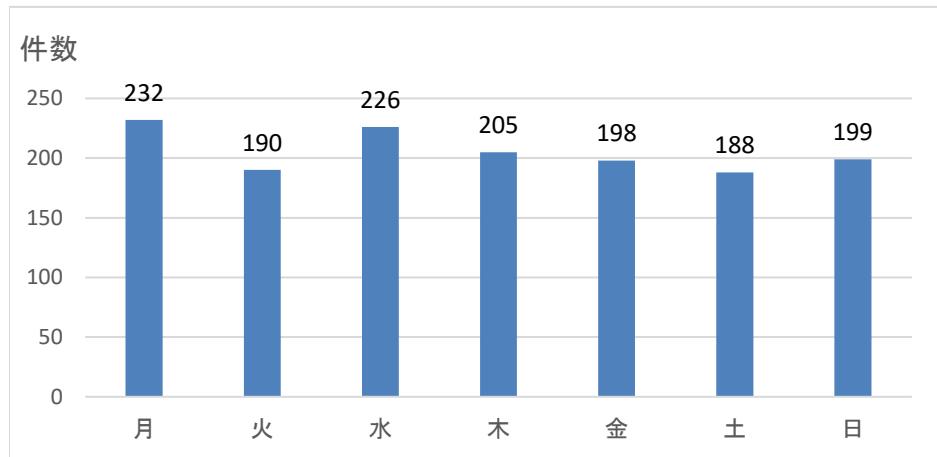
2 時間帯別出場表

時間帯	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
件数	46	47	46	100	198	205	172	160	168	138	86	72	1438



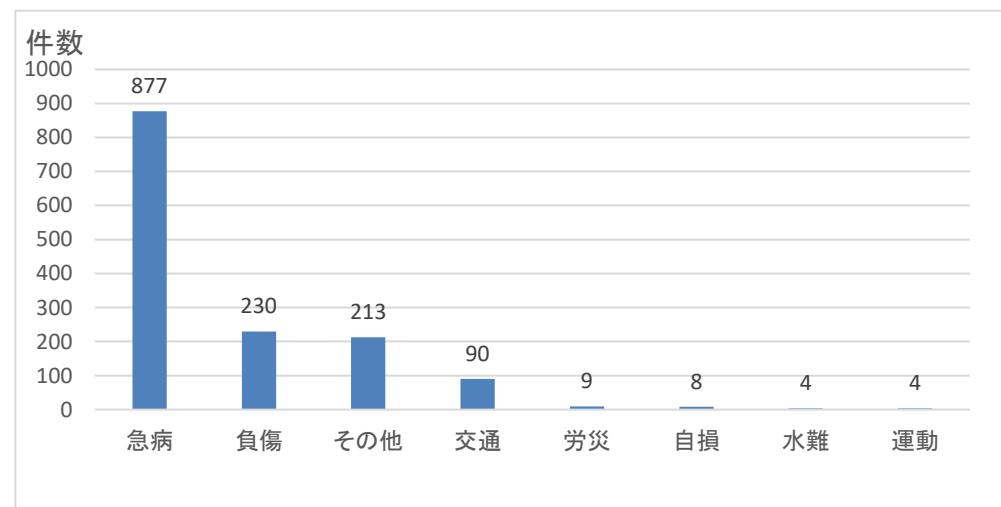
3 曜日別出場状況表

曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
件数	232	190	226	205	198	188	199	1438



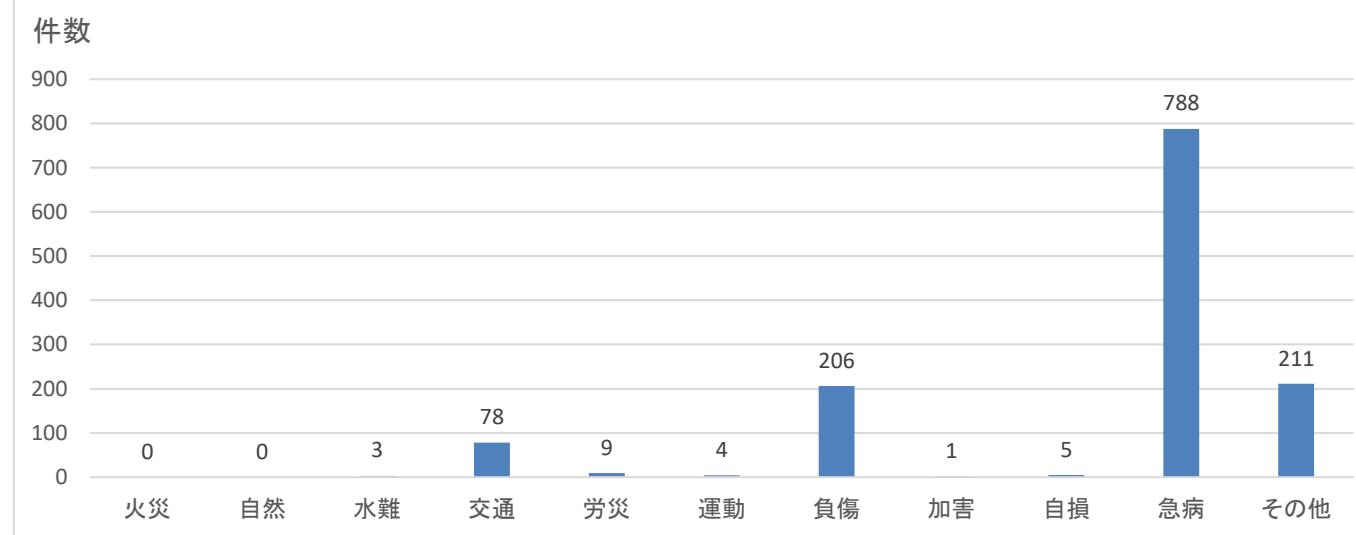
#### 4 事故種別救急出場件数

時 間 帶 別 内 訳	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	その他				計	
											転院	医師	資機材	その他		
時 間 帶 別 内 訳	0~2	0	0	0	2	0	0	6	2	1	33	2	0	0	0	46
	2~4	0	0	0	2	0	0	7	0	0	34	4	0	0	0	47
	4~6	0	0	1	1	1	0	4	0	0	39	0	0	0	0	46
	6~8	0	0	0	7	0	0	22	0	1	69	1	0	0	0	100
	8~10	0	0	1	12	2	0	35	0	1	127	20	0	0	0	198
	10~12	0	0	0	12	4	0	27	0	2	110	50	0	0	0	205
	12~14	0	0	0	12	2	0	28	0	0	92	38	0	0	0	172
	14~16	0	0	0	13	0	1	22	0	0	82	42	0	0	0	160
	16~18	0	0	0	21	0	3	31	0	0	82	31	0	0	0	168
	18~20	0	0	0	5	0	0	21	0	1	102	8	0	0	1	138
	20~22	0	0	2	3	0	0	16	0	1	53	11	0	0	0	86
	22~24	0	0	0	0	0	0	11	0	1	55	5	0	0	0	72
計		0	0	4	90	9	4	230	2	8	877	212	0	0	1	1438



## 5 搬送人員

		搬送人員											
		火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	その他	計
時間帯別内訳	0~2	0	0	0	3	0	0	4	1	1	26	2	37
	2~4	0	0	0	2	0	0	7	0	0	32	4	45
	4~6	0	0	1	1	1	0	4	0	0	34	0	41
	6~8	0	0	0	5	0	0	21	0	1	62	1	90
	8~10	0	0	1	8	2	0	31	0	0	115	20	177
	10~12	0	0	0	10	4	0	25	0	2	104	50	195
	12~14	0	0	0	10	2	0	22	0	0	84	38	156
	14~16	0	0	0	11	0	1	19	0	0	77	42	150
	16~18	0	0	0	19	0	3	27	0	0	71	30	150
	18~20	0	0	0	5	0	0	20	0	0	92	8	125
	20~22	0	0	1	4	0	0	15	0	0	43	11	74
	22~24	0	0	0	0	0	0	11	0	1	48	5	65
	計	0	0	3	78	9	4	206	1	5	788	211	1305



### 6 年齢別傷病程度別搬送人員

	新生児 生後28日以内	乳幼児 29日～6歳	少 年 7歳～17歳	成 人 18歳～64歳	老 人 65歳以上	計
死 亡				7	19	26
重 症				18	133	151
中等症		9	6	100	516	631
軽 症		9	23	127	323	482
その他		1		1	13	15
計		19	29	253	1004	1305

### 7 事故種別不搬送理由別不搬送件数

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	転院	その他	計
辞退(到着前)										3	1		4
辞退(到着後)				11			19	1	1	54			86
拒否										5			5
明らかな死亡									2	17			19
他車(隊)搬送			3							1			4
傷病者なし			4				5			7			16
誤報・いたずら													
その他			1				1			4		1	7
計			1	18			25	1	3	91	1	1	141

### 8 救急隊員の行った応急処置件数

	対象 人員	止血	固定	人工 呼吸	胸骨 圧迫	心肺 蘇生	酸素 吸入	気道 確保	保温	被覆	在宅 療法 継続	除細 動	静脈 路確保	薬剤 投与	血糖 測定	ブドウ 糖投 与	血圧 測定	聴診 器で 聴診	血中 酸素 飽和	心電 図	その 他
急病	788	4	15	4	6	19	196	23	430	1		3	3		19	2	754	331	764	728	
交通	78	6	53			1	12	1	30	6			2		1	1	75	32	77	59	
負傷	206	27	55			2	2	2	108	18		1			1		198	31	199	163	
その他	233	3	8			5	5	5					2	1			224	55	226	209	
計	1305	40	131	4	6	27	215	31	568	25		4	7	1	21	3	1251	449	1266	1159	

## 9 覚知別・障害別件数

	出動作数	救急件数	取扱人員			内訳					
						重 症		中等症		軽 症	
			男	女	計	男	女	男	女	男	女
119番	350	321	117	205	322	7	19	48	101	56	82
携帯	676	584	287	303	590	27	30	125	129	121	131
警察											
加入電話	405	386	192	196	388	28	39	117	109	45	45
府内電話											
無線電話	1	1	1		1						1
駆付報知	5	4	3	1	4	1		2			1
その他											
計	1437	1296	600	705	1305	63	88	292	339	222	259
										14	12
										9	7

## 10 事故種別年齢区分別搬送人員

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	転院	その他	計
新生児													
乳幼児				2			3			12	2		19
少年				6		4	4			12	3		29
成人			1	36	6		32	1	5	140	32		253
老人			2	34	3		167			624	173		1003
計			3	78	9	4	206	1	5	788	211		1305

## 11 事故種別障害程度別搬送人員

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	転院	その他	計
死亡			1	1	1		2		3	17	1		26
重症				1	3		29		1	72	45		151
中等症			1	22	3		81	1		377	145		630
軽症			1	53	2	4	92		1	312	17		482
その他				1			2			10	2		15
計			3	78	9	4	206	1	5	788	211		1305

## 12 現場到着所要時間別出場件数

	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急 病	4	6	392	414	62	878
交 通		3	39	44	4	90
一般負傷		1	117	103	9	230
その他	2	9	154	71	4	240
計	6	19	702	632	79	1438

## 13 収容所要時間別搬送人員

	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急 病		6	140	480	155	7	788
交 通			8	38	32		78
一般負傷			41	108	57		206
その他		7	27	143	56		233
計		13	216	769	300	7	1305

## 14 事故種別医療機関別搬送人員

		急 病		交通事故		一般負傷		その他の搬送人員		計	
		うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内
救急 医療 機関	國 立	27	27			3	3	28	28	58	58
	公 立	647	50	59	23	153	14	138	65	997	152
	公 的	26	26	6	6	12	12	19	19	63	63
	私 的	病 院	75	72	11	11	34	33	45	45	165
		診療所									
	計	775	175	76	40	202	62	230	157	1283	434
その 他 機 関	國 立										
	公 立										
	公 的										
	私 的	病 院	6	2			1	1	1	1	8
		診療所	5		1		3				9
	計	11	2	1		4	1	1	1	17	4
計	國 立	27	27			3	3	28	28	58	58
	公 立	647	50	59	23	153	14	138	65	997	152
	公 的	26	26	6	6	12	12	19	19	63	63
	私 的	病 院	81	74	11	11	35	34	46	46	173
		診療所	5		1		3				9
	計	786	177	77	40	206	63	231	158	1300	438
その他の場所		2	2	1	1			2	2	5	5
合 計		788	179	78	41	206	63	233	160	1305	443

15 救急法指導実施状況

No	月	日	実施団体	対象者	人員	備考
1	2	7	JFEメルトセンター	職員	11	
2		8	JFEメルトセンター	職員	11	
3		14	洋寿荘	職員	13	
4		15	井口老人会		11	
5		17	ファミサポ	ファミサポ提供会員	7	
6		20	ハローワーク	職員	12	
7		21	ハローワーク	職員	8	
8		6	洋寿荘	職員	13	
9		15	内原野会	介護職員	8	
10		24	防災士会	防災士	10	
11	3	26	(株)五輪(安芸火葬場)	職員	2	
12		7	伊尾木小学校	児童、保護者、職員	14	
13		8	ステージ桜ヶ丘	施設職員	6	
14		12	個人	個人	1	
15		15	芸西幼稚園	職員	10	
16		16	下山小学校	教員	4	
17		24	県立安芸中高等学校	教員	16	
18		26	井口国重地区	地区民	35	
19		27	県立安芸中高等学校	教員	32	
20	5	2	第一小学校	児童、保護者	25	
21		4	穴内小学校	教員	8	
22		5	井口小学校	児童、教員	44	
23		6	第一小学校	教員	15	
24		11	矢ノ丸保育所	職員	12	
25		12	矢ノ丸保育所	職員	12	
26		13	川北小学校	児童、教員	35	
27		14	赤野小学校	児童、保護者、教員	25	
28		17	土居小学校	保護者、教員	25	
29		19	川北保育所	職員	5	
30		21	芸西中学校	生徒、教員	71	
31		29	ファミサポ	職員	4	
32		30	個人	個人	1	
33	6	1	メルキュール高知土佐	職員	13	
34		2	森林管理署	職員	36	
35		5	穴内保育所	職員	5	
36		8	安芸福祉協議会	ケアマネ、介護職員	36	
37		9	学童教員	教員	11	
38		11	土居保育所	職員	11	
39		17	芸西保育所	保育士、保護者	11	
40		18	生涯学習課	プール監視員	4	
41		19	芸西村教育委員会	プール監視員	7	
42		23	芸西村教育委員会	プール監視員	2	
43	7	6	井口保育所	職員	3	
44		23	アーク溶接	特別教育を受講するもの	10	
45	8	5	安芸税務署	職員	11	
46		29	川北自主防災訓練	地域住民	20	
47	9	9	福祉保健所	職員	28	
48		31	安芸自動車学校	職員	13	
49	10	7	ステージ桜ヶ丘	職員	12	
50		8	安芸市役所	職員	23	
51		16	防災士	受講者	14	
52		17	元気フェスタ	来場者	30	
		26	安芸市役所	職員	25	

一般救命講習	585
普通救命講習	246
上級救命講習	0
合計	831

# 令和6年度 年報 予防

## 安芸市消防本部

1. 防火対象物数
2. 建築同意事務処理状況
3. 数量別危険物製造所等の数
4. 危険物関係事務処理状況
5. 火災予防条例に基づく各種届出状況
6. 消防法第9条の3に基づく届出状況
7. 消防手数料徴収状況(危険物)(煙火消費)
8. 3年間の火災統計
9. 3年間の地区別火災統計
10. 3年間(令和2年・3年・4年)の月別火災件数及び原因別火災件数調べ
11. 原因別(内訳)火災状況
12. 時刻別火災状況
13. 曜日別火災状況
14. 覚知別火災状況
15. 月別火災状況
16. 月別火災出動状況
17. 業務別火災発生状況

## 1. 防火対象物数

令和 7年 3月31日現在

項目	種類	安芸市			芸西村			計
		1~2F	3~6F	7F以上	1~2F	3~6F	7F以上	
一	イ 劇場、映画館、観覧場	1	1					2
	ロ 公会堂、集会場	16	1		4			21
二	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ	1						1
	ロ 遊技場、ダンスホール	1						1
三	イ 待合、料理店類							0
	ロ 飲食店	8	2		1	1		12
四	百貨店、マーケットその他物品販売業を営む店舗又は展示場	32	1		6			39
五	イ 旅館、ホテル、宿泊所	8	3		7			18
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	8	34	1	7	4		54
六	イ 病院、診療所、助産所	8	7		4	1		20
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム、有料老人ホーム	5	4		2	1		12
	ハ 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、保育所	16			4			20
	ニ 幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校				1			1
七	小、中、高、大、各種学校	22	18		2	2		44
八	図書館、博物館、美術館	2	1					3
九	神社、寺院、教会の類	4			1			5
十	イ 工場、作業場	32	1		6			39
十一	イ 自動車車庫又は駐車場	2			1			3
十二	倉庫	6	1		1			8
十三	前各項に該当しない事業所	43	16		13			72
十四	イ 複合用途防火対象物のうちその一部が特定用途に供されるもの	11	16	3	9	1	1	41
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	1	2					3
十五	重要文化財、重要有形民族文化財	1						1
計		228	108	4	69	10	1	420

## 2. 建築同意事務処理状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
確認申請	安芸	1	1			2	1	2				1	8
	芸西						1						1
	計	1	1			2	1	3				1	9

### (1). 月別、建築、同意事務処理状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新築	安芸	1	1			2		1					5
	芸西						1						1
増築	安芸					1	1			1			3
	芸西												0
移転	安芸												0
	芸西												0
改築	安芸												0
	芸西												0
その他	安芸												0
	芸西												0
計	安芸	1	1			2	1	2			1		8
	芸西							1					1

### (2). 月別、構造別、同意事務処理状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
木造	安芸	1				2	1	1					5
	芸西						1						1
鉄筋コンクリート	安芸									1			1
	芸西												0
鉄骨造	安芸		1					1					2
	芸西												0
コンクリートブロック	安芸												0
	芸西												0
その他	安芸												0
	芸西												0
計	安芸	1	1			2	1	2			1		8
	芸西							1					1

## 3. 数量別危険物製造所等の数

令和7年 3月 31日現在

数量別		五倍以下	五倍をこえ十倍以下	十倍をこえ五十倍以下	五十倍をこえ百倍以下	百倍をこえ百五十倍以下	百五十倍をこえ二百倍以下	二百倍をこえ千倍以下	合計
製造所等の別									
製造所									
貯 蔵 所	屋内貯蔵所								
	屋外 "	2	4						6
	屋内タンク貯蔵所								
	屋外 "	2	2	2	3				9
	地下 "	13	4	2	1				20
	簡易 "								
	移動 "	14		1					15
	小計	31	10	5	4				50
取 扱 所	一般取扱所	4	1	3	2				10
	給油 "		1	8	3	4	1	2	19
	販売 "								
	小計	4	2	11	5	4	1	2	29
合計		35	12	16	9	4	1	2	79

#### 4. 危険物関係事務処理状況

区分 種別	貯蔵所						取扱所			計	
	屋外タンク	移動タンク	屋内タンク	簡易タンク	屋外貯蔵所	屋内貯蔵所	地下タンク	給油取扱所	第一種販売所		
設置許可		1						1			2
変更許可		1						1			2
完成検査（設置）		1									1
完成検査（変更）		1						1			2
仮使用								1			1
軽微工事届							1	3			4
設置者・名称・地名変更届	5	6			1			5		1	18
譲渡・引渡し届		1									1
保安監督者選解任届	3							4		1	8
危険物貯蔵所品名・数量変更届											0
予防規程変更認可申請書								3			3
計	8	11			1		1	19		2	42

#### 5. 火災予防条例に基づく各種届出状況

月別 種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		1		1	1		2	3	4	4	3	1	20
火災とまぎらわしい届		1		1	1		2	3	4	4	3	1	20
少量危険物貯蔵取扱届	2		1		1	2	4	2	2	1		6	21
発電、変電、蓄電、給湯設備届	1			2		1					1	1	6
防火対象物使用開始届			1			1		2	1		1	3	9
煙火打上げ届				2					1				3
露店等の開設届	1		1	4	2	2	3	2	1	1		3	20
道路工事届	4	10	11	12	15	13	16	11	10	18	6	4	130
指定可燃物届													0
ボイラー設置届	1			1	1								3
温風暖房機設置届	1					2	3		1				7
計	10	11	14	22	20	21	28	20	20	24	11	18	219

#### 6. 消防法第9条の3に基づく届出状況

月別 種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			1									2	3
圧縮アセチレンガス等			1									2	3

## 7. 消防手数料徴収状況（危険物）

(単位 : 円)

区分 月別	危 険 物 関 係													
	設置許可		変更許可		設 置 完成検査		変 更 完成検査		完 成 検査前検査		仮使用 仮貯蔵		合 計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
4														
5														
6														
7		1	33,000			1	16,500	1	11,000	1	5,400	4	65,900	
8	1	26,000										1	26,000	
9				1	13,000							1	13,000	
10		1	13,000			1	6,500					2	19,500	
11														
12														
1														
2														
3	1	52,000										1	52,000	
計	2	78,000	2	46,000	1	13,000	2	23,000	1	11,000	1	5,400	9	176,400

## 消防手数料徴収状況（煙火消費）

(単位:円)

区分 月別	煙 火 消 費 許 可 関 係			
	消 費 許 可		合 計	
	件数	金額	件数	金額
7	2	15,800		
			2	15,800

## 8. 3年間の火災統計

区分 年別	火 災 件 数	火災の種類				焼損面積				焼損棟数				損害額(千円)				死傷者	
		建 物 火 災	林 野 火 災	車 輛 ・ 船 舶	その 他の 火 災	建 物 ( $m^2$ )	林 野 (a)	全 焼	半 焼	部 分 焼	ボ ヤ	建 物 火 災	林 野 火 災	車 輛 ・ 船 舶	その 他の 火 災	合 計	死 者	負 傷 者	
4	7	2			5	3						3	10			1,350	1,360	1	2
5	5	2			3							2	17				17		
6	5	3			2							3	21				21		

※建物焼損面積は、焼損床面積と焼損表面積の合計です。

## 9. 3年間の地区別火災統計

地区別 年別	赤 野	穴 内	中 央	井 ノ 口	畠 山	安 芸	土 居	東 川	川 北	伊 尾 木	合 計
	1		3						2	1	7
4									1	2	5
5						1	2	1		1	5
6		1	1			3					5

10. 3年間(令和4年・5年・6年)の  
月別火災件数及び原因別火災件数調べ

年 別	火災原因 種別 月別	火 灾 種 别					出 火 原 因 别			
		建 物	林 野	船 舶	車 両	そ の 他	計	失 火	放 火	そ 調 不 の 査 他 中 明
4	1 月					1	1	1		
	2 月					2	2	2		
	3 月									
	4 月									
	5 月					1	1	1		
	6 月									
	7 月									
	8 月									
	9 月	1					1			1
	10 月	1				1	2		2	
	11 月									
	12 月									
5	計	2				5	7	4	2	1
	1 月	1				1	1			
	2 月					1	1	1		
	3 月					1	1	1		
	4 月									
	5 月									
	6 月					1	1	1		
	7 月									
	8 月									
	9 月									
	10 月									
	11 月									
6	12 月	1					1	1		
	計	2				3	5	5		
	1 月					2	2	2		
	2 月	1					1	1		
	3 月	1					1	1		
	4 月									
	5 月									
	6 月									
	7 月									
	8 月	1					1	1		
	9 月									
	10 月									
	11 月									
	12 月									
	計	3				2	5	5		

## 11. 原因別（内訳）火災状況

(令和6年)

	件 数	比 率 (%)	損害額 (千円)	比 率 (%)
た ば こ				
ライター				
焚 き 火				
放火				
かまど				
枯れ草焼き	2	40		
不 明				
電気機器	1	20	2	9
そ の 他	2	40	19	91
合 計	5	100	21	100

損害額別件数

10 万未満	5件
10 万 ~ 100 万未満	0件
100 万 ~ 1,000 万未満	0件
1,000 万以上	0件

## 12. 時刻別火災状況

(令和6年)

時刻 月別	1 月	2 月	3 月	4 月	8 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
0 ~ 1													
1 ~ 2													
2 ~ 3													
3 ~ 4													
4 ~ 5													
5 ~ 6													
6 ~ 7													
7 ~ 8													
8 ~ 9													
9 ~ 10													
10 ~ 11													
11 ~ 12													
12 ~ 13													
13 ~ 14	1		1										2
14 ~ 15													
15 ~ 16													
16 ~ 17								1					1
17 ~ 18		1											1
18 ~ 19													
19 ~ 20													
20 ~ 21	1												1
21 ~ 22													
22 ~ 23													
23 ~ 24													
不 明													
計	2	1	1					1					5

## 13. 曜日別火災状況

(令和6年)

曜日 月別	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
1月	1				1				2
2月					1				1
3月		1							1
4月									
5月									
6月									
7月									
8月	1								1
9月									
10月									
11月									
12月									
計	2	1			2				5

## 14. 覚知別火災状況

(令和6年)

覚知別	119			加入		事聞	後知	駆込	警察	無線	その他	計
	固定	携帯	その他	固定	携帯							
件数	2	2		1								5

## 15. 月別火災状況

(令和6年)

月別	件数	罹災世帯	死傷者		焼損面積		損害額 (千円)
			死者	負傷者	建物m <sup>2</sup>	林野a	
1月	2						0
2月	1						17
3月	1						2
4月							
5月							
6月							
7月							
8月	1						2
9月							
10月							
11月							
12月							
計	5						21

焼損面積欄の( )内は焼損表面積を記載したもの。

## 16. 月別火災出動状況

(令和6年)

月別	出動ポンプ台数(内放水台数)			出動人員		
	署	団	計	署	団	計
1月	4(4)	9(0)	13(4)	15	47	62
2月	2(1)	16(0)	18(1)	8	87	95
3月	1(0)		1(0)	3		3
4月						
5月						
6月						
7月						
8月	2(0)		2(0)	7		7
9月						
10月						
11月						
12月						
計	9(5)	25(0)	34(5)	33	134	167

出動ポンプ台数については、出動全ポンプ台数と( )内に放水台数を記入。

## 17. 業態別火災発生状況

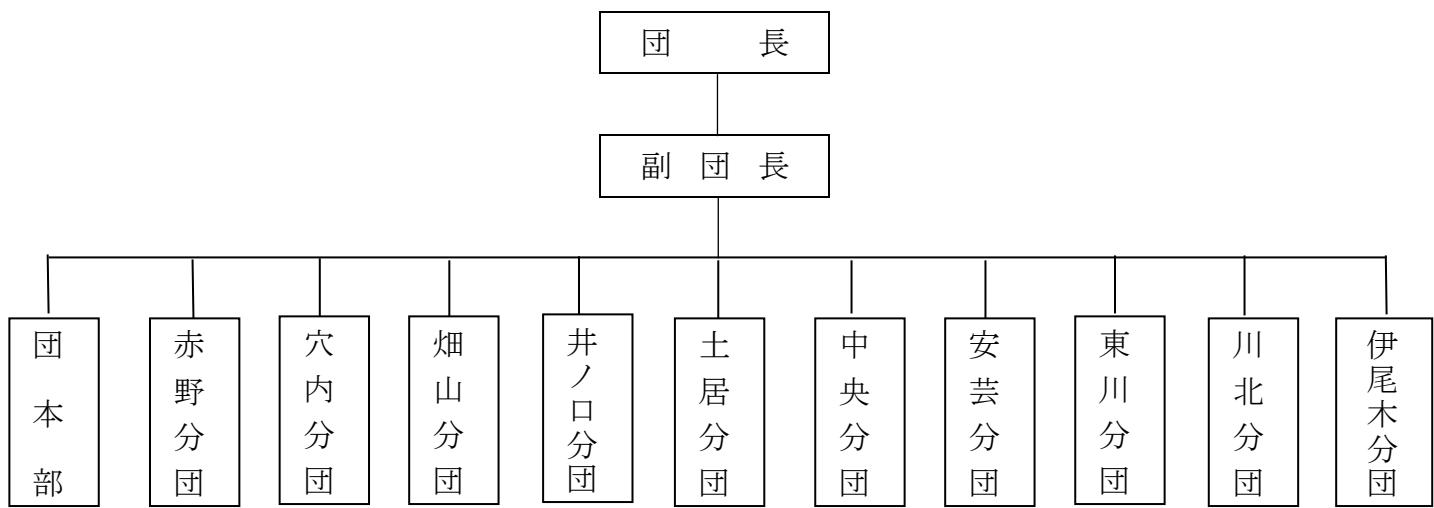
(令和6年)

防火対象物	月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
建 物 火 災	住 宅													
	倉 庫													
	作 業 場													
	共 同 住 宅													
	そ の 他		1	1					1					3
林 野 火 災														
車 両 火 災														
船 舶 火 災														
そ の 他 火 災		2												2
計		2	1	1					1					5

# 令和 6 年度消防団

- 1 消防団機構
- 2 消防団定員及び実員数
- 3 消防団在職年数人員
- 4 消防団年齢別人員
- 5 消防団編成表
- 6 消防機械車齢別一覧表
- 7 機械器具配置状況
- 8 ポンプ車配置状況
- 9 指揮車、運搬車、小型ポンプ積載車  
防災活動車配置状況
- 10 小型ポンプ配置状況
- 11 消防団幹部名簿
- 12 歴代団長
- 13 団員報酬調べ、年報酬(1人当)
- 14 出動報酬
- 15 手当関係
- 16 安芸市消防団員表彰条例

## 1. 消防団機構



## 2. 消防団定員及び実員数

階級区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定員	1	2	10	10	30	41	188	282
実数	1	2	10	10	30	41	139	233

## 3. 消防団在職年数人員

項目区分	5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上	計
団員数	41	50	38	36	25	14	29	233

## 4. 消防団年齢別人員

年齢区分	18歳 20歳	21歳 25歳	26歳 30歳	31歳 35歳	36歳 40歳	41歳 45歳	46歳 50歳	51歳 55歳	56歳 60歳	61歳 65歳	計
団員数	2	7	13	25	29	47	39	36	23	12	233

## 5. 消防団編成表

階級 団名	階級別内訳							
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団本部	1	2				1	8	12
伊尾木分団			1	1	3	4	22	31
川北分団			1	1	3	4	21	30
東川分団			1	1	3	4	12	21
土居分団			1	1	3	4	11	20
井ノ口分団			1	1	3	4	14	23
畠山分団			1	1	3	4	8	17
安芸分団			1	1	3	4	10	19
中央分団			1	1	3	4	11	20
穴内分団			1	1	3	4	10	19
赤野分団			1	1	3	4	12	21
計	1	2	10	10	30	41	139	233

## 6. 消防機械車齢別一覧表

車齢 区分	ポンプ車	運搬車	積載車	指揮車	防災活動車	小型ポンプ
1年以内			2			2
2〃			2			2
3〃						2
4〃						2
5〃	5	2				2
6〃		2				
7〃		2				
8〃		2			1	1
9〃		2				
10〃	1					
11〃	1					
12〃	1					1
13〃	1					
14〃	1		1			
15年以上				1		2
計	10	10	5	1	1	14

## 7. 機械器具配置状況

車種	ポンプ車	運搬車	積載車	指揮車	防災活動車	小型ポンプ	計
台数	10	10	5	1	1	14	41

## 8. ポンプ車配置状況

区分 分団名	登録番号	車名	出力 (ps)	年式	規格	ポンプ製作所
伊尾木	800さ7079	日野	150	2013	CD-1型	GMいちはら
川北	800さ6724	トヨタ	150	2012	CD-1型	日機
東川	800さ9252	いすゞ	135	1998	CD-1型	吉谷
土居	800さ8174	トヨタ	150	2014	CD-1型	吉谷
井ノ口	800さ9143	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ
畠山	800さ9145	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ
安芸	800さ6461	トヨタ	150	2011	CD-1型	日機
中央	800さ9144	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ
穴内	800さ7678	トヨタ	150	2015	CD-1型	日機
赤野	800さ9141	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ

## 9. 指揮車、運搬車、防災活動車、積載車配置状況

区分 分団名	登録番号	車名	年式	用途
伊尾木	800さ8710	トヨタ、ダイナ	2019	運搬車
伊尾木	830そ109	いすゞ、エルフ	2024	小ボ積載車
川北	800さ9236	トヨタ、ダイナ	2021	運搬車
川北	800さ9924	いすゞ、エルフ	2023	小ボ積載車
東川	800さ8948	トヨタ、ダイナ	2020	運搬車
土居	800さ8174	ニッサン、アトラス	2017	運搬車
井ノ口	800さ8173	ニッサン、アトラス	2017	運搬車
畠山	800さ8709	トヨタ、ダイナ	2019	運搬車
安芸	800さ8947	トヨタ、ダイナ	2020	運搬車
中央	800さ8479	トヨタ、エース	2018	運搬車
穴内	800さ8478	トヨタ、エース	2018	運搬車
穴内	800さ9929	いすゞ、エルフ	2023	小ボ積載車
赤野	830さ152	いすゞ、エルフ	2024	小ボ積載車
赤野	800さ9241	トヨタ、ダイナ	2021	運搬車
本部	800さ5788	スバル、レガシー	2009	指揮車
本部	880あ418	ダイハツ、アトレーレ	2011	軽四積載車
本部	800さ8387	ミツビシ、デリカ	2017	防災活動車

## 10. 小型ポンプ配置状況

区分 分団名	配置別	ポンプ名	年式	規格	出力
伊尾木	下山	シバウラ	2024	B 2	33
川北	江川	シバウラ	2023	B 2	33
東川	奈比賀	シバウラ	2019	B 2	32
〃	入河内	シバウラ	2016	C 1	15
〃	丸石	シバウラ	2021	C 1	15
〃	大井	シバウラ	2021	C 1	15
〃	古井	ラビット	2000	C 1	15
畠山	栢ノ木	ラビット	2022	C 1	15
〃	和田	トーハツ	2019	B 2	30
〃	上尾川	シバウラ	2020	B 3	55
井ノ口	内原野	トーハツ	2020	B 3	55
穴内	穴内	トーハツ	2023	B 2	30
赤野	赤野	シバウラ	2024	B 2	33
本部	本部	トーハツ	2011	B 2	22

## 1 1. 消防団幹部名簿

階 級	所 属	氏 名
団 長	団 本 部	中 川 洋 文
副 団 長	団 本 部	小 松 貞 仁
副 団 長	団 本 部	西 岡 憲 幸
分 団 長	伊 尾 木 分 団	山 本 正 人
〃	川 北 〃	西 岡 秀 輝
〃	東 川 〃	小 松 浩 二
〃	土 居 〃	畠 山 貴 宏
〃	井 ノ 口 〃	西 岡 大 作
〃	畠 山 〃	小 原 忠 明
〃	安 芸 〃	大 野 恵 三
〃	中 央 〃	山 下 正 一 郎
〃	穴 内 〃	前 田 貢
〃	赤 野 〃	尾 木 成 行

## 1 2. 歴代団長

代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	野 町 紀 滉 之 助	自 昭和29年 8月 1日 至 昭和43年 7月 31日	14 年
2 代	畠 山 丈 藏	自 昭和43年 8月 1日 至 昭和51年 7月 31日	8 年
3 代	岡 村 幸 一	自 昭和51年 8月 1日 至 昭和55年 7月 31日	4 年
4 代	岡 林 重 夫	自 昭和55年 8月 1日 至 昭和63年 7月 31日	8 年
5 代	吉 永 秀 昭	自 昭和63年 8月 1日 至 平成 8年 7月 31日	8 年
6 代	五 百 藏 溜	自 平成 8年 8月 1日 至 平成16年 7月 31日	8 年
7 代	野 町 久 壽 昭	自 平成16年 8月 1日 至 平成30年 7月 31日	14 年
8 代	安 部 正 治	自 平成30年 8月 1日 至 令和 4年 7月 31日	4 年
9 代	中 川 洋 文	自 令和 4年 8月 1日 至 現在に至る	

### 1 3. 年額報酬（1人当）

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	37,000円	36,500円

### 1 4. 出動報酬

職務	金額
水火災出動	1日につき 8,000円

### 1 5. 手当関係

#### 費用弁償

職務	金額
警戒出動、搜索出動、その他の出動	1日につき 4,000円(ただし、1回の服務時間が4時間を超える場合は、超過した時間1時間につき1,000円を加算して支給する。)
訓練、研修、会議、その他の消防活動	1時間につき 1,000円
機器整備	ポンプ自動車 1回につき 430円
	運搬車 1回につき 280円
	積載車 1回につき 280円
	小型動力ポンプ 1回につき 280円

## 16. 安芸市消防団員表彰条例

(昭和51年3月24日条例第14号)

第1条 この条例は、消防業務に精励し、その功績が顕著であった消防団員（以下「団員」という。）を表彰することを目的とする。

第2条 表彰基準は次のとおりとする。

（1）在職年数10年以上で退職した団員

（2）公務中事故により死亡又は障害（非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令「昭和31年政令第335号」別表第3に定める1級から8級までの等級に該当する身体障害者をいう。）となり退職した団員

2 退職者に授与する金品の額は、前項第1号該当者は別表第1、前項第2号該当者は別表第2に掲げるとおりとする。

第3条 表彰は、表彰状及び金品を授与して行う。

第4条 表彰を受ける者が死亡したときは、表彰状及び金品をその遺族に授与してこれを追彰する。

第5条 在職期間の計算は、団員となった日の属する月から退職した日の属する月までの期間とする。

第6条 この条例の施行に関し、必要な事項は市長が別に定める。

### 附 則

この条例は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年10月12日条例第20号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成25年3月22日条例第14号）

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

別表第1 金品の額

在職期間	金品の額
10年以上15年未満	40,000円
15年以上20年未満	60,000円
20年以上25年未満	100,000円
25年以上30年未満	150,000円
30年以上35年未満	200,000円
35年以上40年未満	250,000円
40年以上	300,000円

別表第2

種別	在職期間	金品の額
死亡	10年以下	200,000円
	10年以上15年未満	240,000円
	15年以上20年未満	260,000円
	20年以上25年未満	300,000円
	25年以上30年未満	350,000円
	30年以上	400,000円
障害	10年以下	100,000円
	10年以上15年未満	140,000円
	15年以上20年未満	160,000円
	20年以上25年未満	200,000円
	25年以上30年未満	250,000円
	30年以上	300,000円